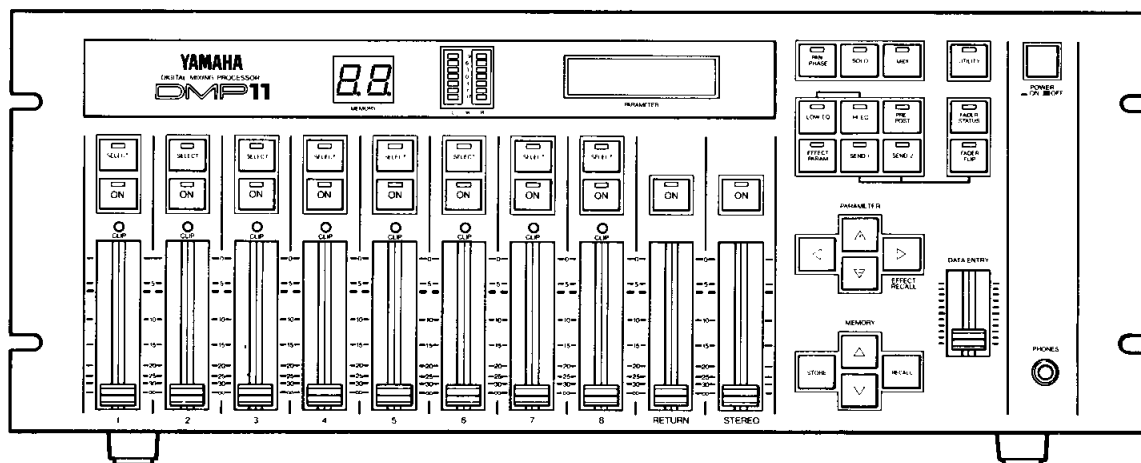


YAMAHA

DIGITAL MIXING PROCESSOR

DMP11

取扱説明書



このたびは、ヤマハ・デジタル・ミキシング・プロセッサ―DMP11
をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

DMP11は、マルチキーボード化、マルチエフェクター化に伴い
要求される現代の複雑で高度なミキシングテクニックに対し、機
能性と操作性、再現性で対応する8チャンネルイン/ステレオア
ウト仕様のデジタルミキサーです。パネル上のセッティングを全て
メモリーできるプログラマブルタイプです。

さらに、ミキサーとしての機能はもちろん、エフェクターも組み
込まれています。

DMP11の性能をフルに発揮させると共に、いつまでも支障なく
お使いいただくために、ご使用前にこの説明書をよくお読み
くださいますよう、よろしく願いいたします。

ご使用上の注意

◆設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因になりますのでご注意ください。

- ・窓際など直射日光の当たる場所
- ・暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- ・極端に湿度の高い場所
- ・ホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

◆電源について

- ・電源は必ずAC100Vを使用してください。AC100V以外の電源は絶対に使用しないでください。
- ・長時間ご使用にならない場合は電源コードのプラグを電源コンセントから抜いておいてください。
- ・落雷などの恐れがある場合は電源コードのプラグを電源コンセントから抜いておいてください。

◆取り扱い、移動について

- ・キー、スイッチ、入出力端子などに無理な力を加えることは避けてください。
- ・コード部分の断線やショートを防ぐため、コード類をはずすときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
- ・本機を移動するときは、コード類の断線やショートを防ぐため、電源コードや接続コードを全てはずしてから行ってください。

◆他の電気機器への影響について

本機はデジタル回路を多く使っているため、近くのラジオやテレビに雑音などが生じることがあります。この場合は十分に距離を離してお使いください。

◆改造について

本機を改造したり、内部を開けたりすることは故障の原因や事故につながりますので、絶対にしないでください。改造された後の保証はいたしかねます。

◆接続について

本機に接続されている機器などの破損を防ぐために、接続作業は本機および接続する機器の電源を切った状態で行ってください。

◆外装のお手入れについて

- ・汚れなどのお手入れの際は、柔らかい布でからぶきしてください。
- ・ペンジンやシンナー、揮発油などの液体で外装をふいたり、近くでエアゾールスプレーを散布することは避けてください。

◆冷却対策について

本機は上面部と低部の通風孔から空気を取り入れ、内部回路を冷却します。設置場所は通風性の良い場所を選ぶと共に、特に上面部および底部の通風孔は塞ぐことのない様にして下さい。なお本機をラックマウントした場合にもご注意ください。

◆バックアップバッテリーについて

本機内にメモリー中の“96種類のミキシングプログラム”や“MIDIデータ”は、本機内部のバッテリーにより保護されています。しかし、このバッテリーには寿命（約5年）があり、寿命がくるとメモリー内容は消えてしまいます。

そこで、メモリー内容を消してしまわないよう、時々本機のユーティリティキーを押して行き、バッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が2.5V以下になったらバッテリーの交換時期です。（バッテリー電圧が2.5V以下になるとパワーオン時にも警告表示が出ます。）

なお、バッテリー交換の際にもメモリー内容が消えてしまいますので、交換前にデータをメモなどに書き写すか、データレコーダーなどにセーブしてください。

バッテリー交換は、お買い上げ店、もしくは最寄りの弊社電音サービスセンターにご相談ください。

◆XLRタイプコネクタについて

本機のステレオアウト端子のXLRタイプコネクタは、DIN規格にもとづき配線されており、1番シールド（アース）、2番ホット、3番コールドの接続形式です。

◆MIDIケーブルについて

- ・MIDIケーブルは、MIDI規格のものをお使いください。
- ・MIDIケーブルの長さは15mが限度とされています。これ以上長いケーブルをご使用になりますと、トラブルの原因となりますので注意してください。

◆保証書について

お買い求めの際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でもサービスが有償になることがあります。保証書は大切に保管してください。

◆故障や異常が発生した場合について

すぐに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いて、お買い上げ店、もしくは最寄りの弊社電音サービスセンターにお問い合わせください。

◆エラーメッセージについて

電源オン時に回路の自己診断を行い、異常があった場合、メモリーナンバーディスプレイに下記のようなエラー番号が表示されます。

このような表示が出た場合には、速やかに、お買い上げ店、もしくは最寄りの弊社電音サービスセンターまでご相談ください。



ROMエラー



CPU RAMエラー



MAIN RAMエラー

目次

01 : 特徴	4	07 : ステレオマスター	18
02 : 各部の名称と働き	5	07-01 : ステレオレベル	18
02-01 : [POWER] パワーキー	5	07-02 : ステレオオン/オフ	18
02-02 : [MEMORY]		07-03 : フットボリューム	18
メモリーナンバーディスプレイ	5	07-04 : ソロ	18
02-03 : [STEREO LEVEL]		08 : エフェクトパラメーター	19
ステレオアウトレベルメーター	5	-EFFECT 1 のプログラム-	19
02-04 : [LCD] 液晶ディスプレイ	5	08-01 : リバープ1、2、3、4	19
22-05 : [CLIP] クリップインジケーター	5	08-02 : フランジA、B	19
02-06 : [FADER1~8] フェーダー1~8	5	08-03 : コーラスA、B	20
02-07 : [EFFECT・RETURN・FADER]		08-04 : フェイジング	20
エフェクトリターンフェーダー	5	08-05 : トレモロ	20
02-08 : [STEREO・FADER]		08-06 : シンフォニック	20
ステレオフェーダー	5	08-07 : アーリーリフレクション1、2	21
02-09 : [SELECT] セレクトキー	5	08-08 : ゲートリバープ、リバースゲート	21
02-10 : [ON] チャンネルオンキー	5	08-09 : デイレイL&R	22
02-11 : [ON] リターンオンキー	6	08-10 : ステレオエコー	22
02-12 : [ON] ステレオオンキー	6	08-11 : ビッチチェンジA、B、C	23
02-13 : [PAN/PHASE] パン/フェイズキー	6	-EFFECT 2 のプログラム-	25
02-14 : [SOLO] ソロキー	6	08-12 : ステレオエコー	25
02-15 : [LOW/HI・EQ] ロー/ハイコライザー	6	08-13 : フランジ	25
02-16 : [PRE/POST] プリ/ポストキー	6	08-14 : コーラス	25
02-17 : [EFFECT PARAM]		08-15 : フェイジング	25
エフェクトパラメーターキー	6	08-16 : パンポット	25
02-18 : [SEND1、2] センドキー	6	09 : ユーティリティモード	26
02-19 : [FADER STATUS]		09-01 : メモリープロテクト	26
フェーダーステータスキー	6	09-02 : エディットタイトル	27
02-20 : [FADER FLIP]		09-03 : データエントリー&フットボリューム	28
フェーダーフリップキー	6	09-04 : フェードタイム	28
02-21 : [MIDI] MIDIキー	6	09-05 : チャンネルコピー	29
02-22 : [UTILITY] ユーティリティキー	6	09-06 : バッテリーチェック	30
02-23 : [MEMORY UP/DOWN]		09-07 : OSC&インプットパッチ	30
メモリーアップ/ダウンキー	6	09-08 : カスケードモードセレクト・カスケードインレベル & エフ	
02-24 : [RECALL] リコールキー	6	ェクトインプット・外部エフェクトSEND端子SENDセレクト	32
02-25 : [STORE] ストアキー	6	10 : MIDIモード	34
02-26 : [PARAMETER] パラメーターキー	6	10-01 : MIDIについて	34
02-27 : [DATA ENTRY]		10-02 : ベースチャンネルについて	35
データエントリースライダ	6	10-03 : バンク、ベースチャンネルの設定	35
02-28 : [PHONES] ヘッドホン端子	6	10-04 : プログラムチェンジ&メモリーナンバー対応	36
02-29 : [CH INPUT]		10-05 : コントロールチェンジ&パラメーター対応	
チャンネルインプット端子	7	(ベースチャンネル)	37
02-30 : [GAIN] ゲインコントロール	7	10-06 : コントロールチェンジ&パラメーター対応	
02-31 : [EFFECTS SEND] エフェクトSEND端子	7	(ネクストチャンネル)	38
02-32 : [DIGITAL CASCADE]		10-07 : プログラムチェンジ、コントロールチェンジの送受信	38
デジタルカスケード端子	7	10-08 : マージ&オムニコントロール	39
02-33 : [STEREO OUT] ステレオアウト端子	7	10-09 : バルクアウト&イニシャライズ	39
02-34 : [FOOT VOL] フットボリューム端子	7	10-10 : バルクダンプの受信	40
02-35 : [MIDI] MIDI端子	7	10-11 : 受信エラーメッセージ	40
03 : メモリーの考え方	8	11 : システムの初期化とモードの変更	41
03-01 : メモリープロテクト	8	11-01 : RAMオールクリア	41
03-02 : エディットバッファ	8	11-02 : RAMバンク0クリア	41
03-03 : メモリーストア	8	11-03 : MIDI標準テーブルセット	41
03-04 : メモリーリコール	9	11-04 : システムモードの変更	42
04 : フェーダー、及び、フェーダーステータスについて	10	12 : 資料	43
05 : チャンネルインプット	11	12-01 : MIDIデータフォーマット	43
05-01 : チャンネルオン/オフ	11	12-02 : 仕様	51
05-02 : チャンネルレベル	11	12-03 : 寸法図	52
05-03 : パン	11	12-04 : ブロックダイアグラム	53
05-04 : フェイズ	11	12-05 : エフェクトプログラム一覧表	54
05-05 : イコライザー	12	12-06 : イニシャルデータ	56
05-06 : エフェクトSENDプリ/ポスト	13	12-07 : ブランクチャート	59
05-07 : エフェクトSENDレベル	14	13 : サービスについて	63
06 : エフェクターマスター	15		
06-01 : エフェクトセレクト	15		
06-02 : エフェクトパラメーター&エフェクトのストア	16		
06-03 : エフェクトリターンレベル	17		
06-04 : エフェクトリターンバランス	17		
06-05 : エフェクトリターンオン/オフ	17		

01 : 特徴

★オーディオ信号をデジタル変換

本機は8チャンネルイン/ステレオアウトのミキサーであり、チャンネル部のヘッドアンプ以降をデジタルで処理します。AD/DA変換16ビット、サンプリング周波数44.1kHzです。デジタルならではの高信頼性、低歪率、低ノイズを実現しました。

★ミキシングプログラムをメモリー可能

フェーダーレベルやイコライザーの設定、定位、エフェクトの設定、チャンネルのオン/オフ等、ミキシングに関する全てのパラメーター（リアパネルのゲインコントロールは除く）の値を96通りまで、メモリーできます。（メモリーしたプログラムは、後で自由に呼び出すことができます。）このため、全く同じ状況の場合には、一度プログラムを作ってしまうと、2度目からは、それらのプログラムを使って再現すればよい、ということになります。

★2系統のエフェクト回路を内蔵

REV5、SPX90IIのノウハウをいかしたエフェクトを2グループ(EFFECT 1、2)内蔵しています。

EFFECT 1は、20種類の中から、EFFECT 2は5種類の中から効果を選び、それぞれ設定できます。もちろん、他のパラメーターといっしょに、これらのセッティングもメモリーできます。エフェクトの内蔵は、音質の確保や操作性の面でも大変有利です。

★ソロ機能の採用

ソロ機能を使うことにより、任意のチャンネルの信号だけを出力できます。これにより、リハーサルの時など、セッティングを変えずに、必要な楽音だけを素早く聞くことができます。

★2帯域、周波数連続可変のイコライザー採用

チャンネルイコライザーは、2バンドのイコライザーです。周波数、Q、ゲインなどのパラメーターを個々に設定できるので、綿密な音色コントロールが可能です。

★データエントリースライダーを装備

パラメーターの設定は、データエントリースライダーとアップ/ダウンキーの両方で行えます。値を大きく変えたいときは、データエントリースライダー、小さく変えたいときはアップ/ダウンキーを用いると便利です。

★フットボリューム端子を装備

別売りフットコントローラーFC7を接続すれば、ステレオアウト端子へのレベルを足元でコントロールできます。

★デジタルI/O端子を装備

デジタルI/O端子を装備しており、複数のDMP11、DMP7をステレオバスにおいて、デジタルカスケード接続できます。たとえば4台カスケードすれば、32インプットが可能になります。

★MIDI対応

MIDIイン、アウト、スルー端子を装備しています。MIDIキーボードやMIDIシーケンサーなどからプログラムチェンジメッセージを送り、本機のミキシングプログラムを切り替えることができます。（MIDIシステムを考えた場合は、ミキシングを含めた自動演奏ができることになります。）また、逆に本機のメモリーの切り替えに合わせて、外部MIDI機器をコントロールすることもできます。カスケード接続した場合にも便利です。さらに、外部MIDI機器によるコントロールチェンジにより、本機のパラメーターの値をコントロールできます。

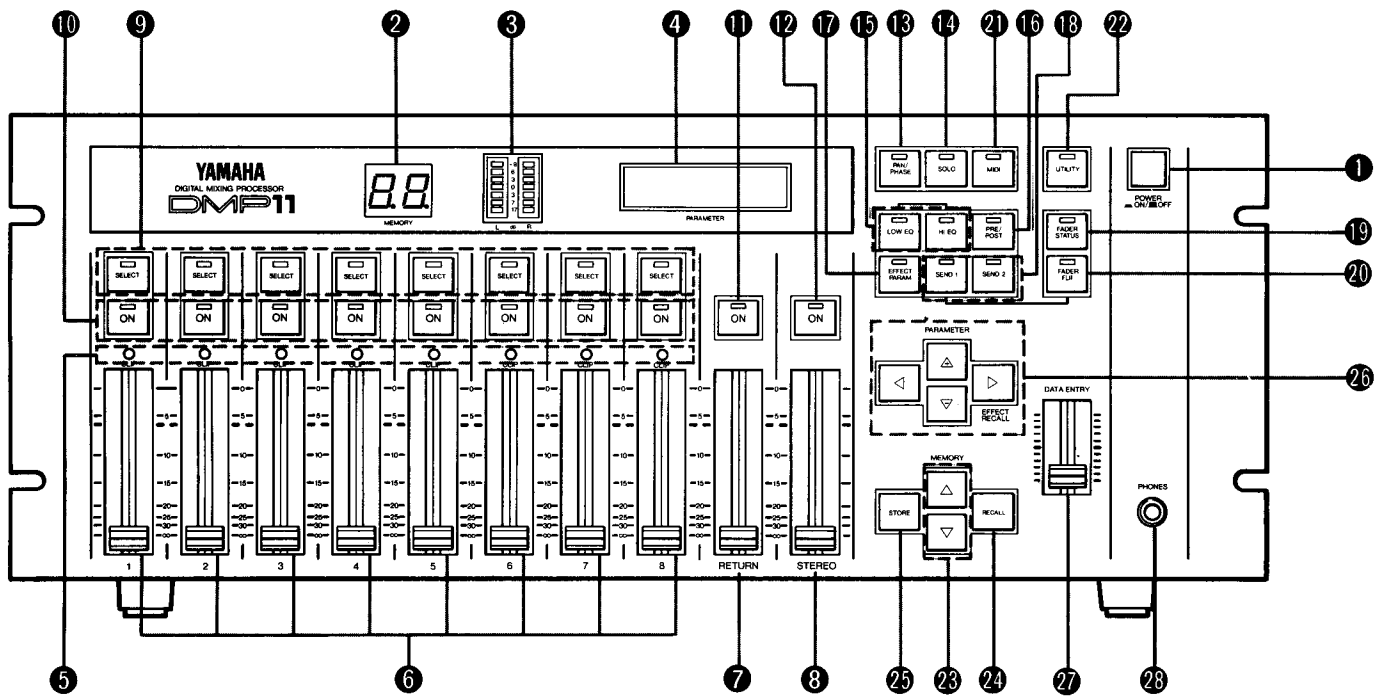
★レベルメーターやLCDを装備

ステレオアウトL、R部、それぞれにピークLEDレベルメーターを装備しています。また、LCDやLED表示を見ながら、エディットできます。LCDはバックライト付きですから視認性が良く、暗いホールやスタジオでも確実に確認できます。

02：各部の名称と働き

各項共、02-XXを表します。たとえば⑥は目次の中の02-05にあたります。

フロントパネル



① [POWER] パワーキー

オンにすると電源が入り、前回使用していたときの状態になります。

② [MEMORY] メモリーナンバーディスプレイ

プログラムのメモリーナンバーを表示する7セグメント2桁のLEDです。

③ [STEREO LEVEL] ステレオアウトレベルメーター

ステレオアウトL、R端子への出力レベルを表示します。

④ [LCD] 液晶ディスプレイ

呼び出したプログラムの名称や、パラメーターの設定等が表示されます。キー操作に応じて表示が変わるために、本機のその時の状態を、いつでも目で確認できます。バックライト付きですから、暗い場所でも確実に監視できます。

⑤ [CLIP] クリップインジケーター

入力した信号が、クリッピングレベルの約3dB手前に達したとき点灯します。このインジケーターが頻繁に点灯する時は接続した機器の出力レベルを下げるか、本機リアパネルのゲインコントロール⑩にて調整してください。

⑥ [FADER1~8] フェーダー1~8

チャンネル1~8に設けられたフェーダーです。各チャンネルのレベル、及び、エフェクトセンド1、2へのレベルを設定します。

⑦ [EFFECT・RETURN・FADER]

エフェクトリターンフェーダー

エフェクトリターン1、2共用のフェーダーです。ステレオアウトへの、エフェクトリターン信号1、2の送出レベルを設定します。

⑧ [STEREO・FADER] ステレオフェーダー

ステレオアウトL、R端子への出力レベルを調整します。なお、このフェーダーの設定により、ヘッドホン端子への出力も設定されます。

⑨ [SELECT] セレクトキー

チャンネル1~8に、それぞれ設けられたキーです。各チャンネルのミキシングパラメーターのうち、PHASE、EQ、PANのパラメーターを設定する場合は、まず、このキーで、設定するチャンネルを指定します。キー内のLEDが複数点灯することはありません。現在設定可能なチャンネルのLEDのみ点灯します。

⑩ [ON] チャンネルオンキー

チャンネル1~8にそれぞれ設けられたキーで、キーを押すたびに、そのチャンネルセンドも含め、オン/オフを繰り返します。キー内のLEDを点灯させたチャンネルはオン、消灯させたチャンネルはオフです。

11 [ON] リターンオンキー

エフェクトリターン1、2共用のキーで、エフェクトリターン信号1、2をステレオアウトに送出させるかどうかを、それぞれ設定することができます。

このキーを押してこのキー内のLEDを点灯させます。消灯させれば、出力がカットされます。

12 [ON] ステレオオンキー

本機の全ての信号を、ステレオアウトL、R端子に出力させるかどうか、設定することができます。

なお、このキーのオン/オフにより、ヘッドホン端子への出力のオン/オフも決まります。

13 [PAN/PHASE] パン/フェイズキー

チャンネルセレクトキーで設定チャンネルを指定した後、このキーを押すと、そのチャンネルのPAN、及び、PHASEを設定可能になります。キーを押すたびに、PANを設定できる状態と、PHASEを設定できる状態が繰り返されます。

14 [SOLO] ソロキー

ソロ機能を働かせるときに押します。このキーを押すと、希望する信号だけを出力させることが可能になります。

ソロ機能は、信号の状態をチェックするための機能といえます。

15 [LOW/HI-EQ] ロー/ハイコライザー

チャンネルセレクトキーで設定チャンネルを指定した後、このキーを押すと、そのチャンネルのイコライザーが設定可能になります。

また、キーを押すたびに、イコライザー機能の働き自体がオン/オフを繰り返します。LCDに設定値が表示される状態がオン、“EQ OFF”と表示される状態がオフです。(但し、そのチャンネルのオシレータがオンの場合には機能しません。)

16 [PRE/POST] プリ/ポストキー

各チャンネルのチャンネルエフェクトセンド1、2の信号の取り出す位置を設定することができます。PREはプリフェーダー、POSTはポストフェーダーを意味します。

17 [EFFECT PARAM] エフェクトパラメーターキー

指定した系統の指定したエフェクトプログラムを設定する際は、このキーを押して、エフェクトパラメーターの値を設定できる状態にします。

18 [SEND1、2] センドキー

エフェクトセンド、及び、エフェクトリターンの系統に関する設定をする場合は、このキーを押してキー内のLEDを点灯させます。

19 [FADER STATUS] フェーダーステータスキー

フェーダーの状態をLCDに示します。2回以上続けて押すとフェーダーの状態の表示方法が変わります。フェーダーのメモリー値をグラフィックで表示させる方法と、LCDの表示される矢印に従いフェーダーを動かし、メモリーとフェーダーを一致させる方法があります。

20 [FADER FLIP] フェーダーフリップキー

フェーダー1~8の働きを、チャンネルフェーダーでなく、チャンネルエフェクトセンド1、2のレベルの働きに変える場合は、このキーを押してキー内のLEDを点灯させます。(もう1度押して消灯させれば、もとのチャンネルフェーダーの働きに戻ります。)

21 [MIDI] MIDIキー

MIDIモードの表示にするためのキーです。キーを押すごとに、表示が変わります。MIDIモードにすると、キー内のLEDが点灯します。MIDIモードを解除するときは、押しもさしつかえない別のキーを押します。(但し、押しも反応しないキーもあります。)

22 [UTILITY] ユーティリティキー

ユーティリティモードの表示にするためのキーです。キーを押すごとに、表示が変わります。

ユーティリティモードにすると、キー内のLEDが点灯します。ユーティリティモードを解除するときは、通常の状態になるまでキーを押すか、押しもさしつかえない別のキーを押します。(但し、押しも反応しないキーもあります。)

23 [MEMORY UP/DOWN] メモリーアップ/ダウンキー

セッティングしたプログラム(全てのミキシングパラメーターの値)を書き込んだり呼び出したりするときに、メモリーナンバーを指定するためのキーです。

△キーを押すとメモリーナンバーはインクリメントされ、▽キーを押すとデクリメントされます。

24 [RECALL] リコールキー

ストア済みのプログラムを呼び出す(メモリーリコール)ためのキーです。

25 [STORE] ストアキー

セッティングしたプログラムを、本機内(メモリーナンバー1~96)に書き込む(メモリーストア)ためのキーです。

26 [PARAMETER] パラメーターキー

このキーには、アップ/ダウンキーとレフト/ライトキーがあり、アップ/ダウンキーでは、主にパラメーターの値を設定するために使います。また、レフト/ライトキーは、主にカーソルを移動するときに使います。(ライトキーは、エフェクトのリコール時にも使います。)

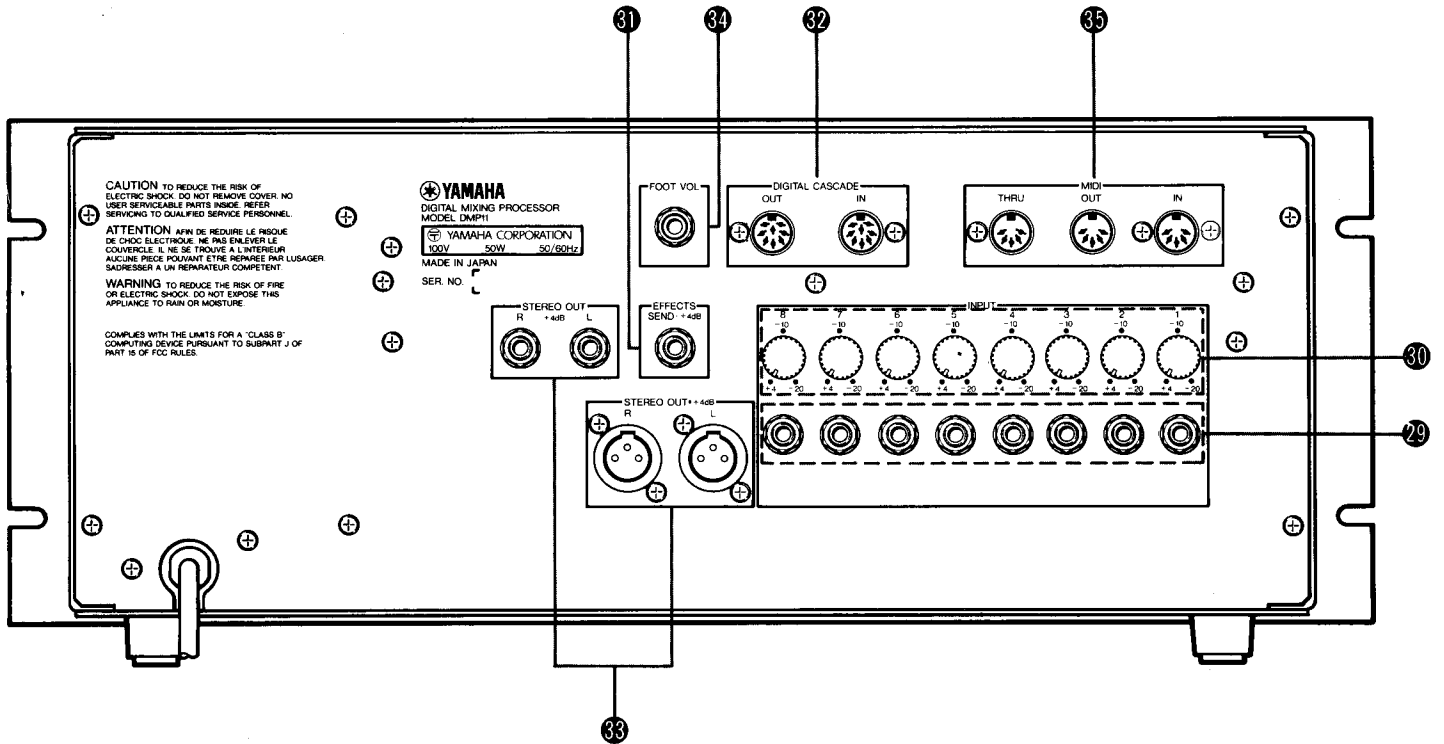
27 [DATA ENTRY] データエントリースライダー

主に、パラメーター値を指定するためのスライダーです。値を大きく変化させるときに便利です。上側にスライドさせると値が増加し、下側にスライドさせると値が減少します。

28 [PHONES] ヘッドホン端子

ステレオアウト端子に出力される信号と同じものをモニターできます。8Ω以上のヘッドホンをご使用ください。

リアパネル



29 [CH INPUT] チャンネルインプット端子

規定入力レベル、及び、適合インピーダンスは、 $-20\text{dBm} \sim +4\text{dBm}/600\Omega$ です。
不平衡入力端子です。

30 [GAIN] ゲインコントロール

各チャンネルのゲインコントロールです。楽音信号は、ゲインコントロールされた後、A/D変換されます。

31 [EFFECTS SEND] エフェクトSEND端子

各チャンネルのチャンネルエフェクトSENDのレベルでコントロールされ、ミックスされた信号が常に出力されます。(エフェクトSENDの1、または2を出力するかは、ユーティリティモードの中で設定します。)
規定出力レベル、及び、適合インピーダンスは、 $+4\text{dBm}/10\text{k}\Omega$ です。不平衡出力です。

32 [DIGITAL CASCADE] デジタルカスケード端子

複数台のDMP11、7をカスケード接続する場合に使用します。送り側のDMP11、7のアウト端子と、受け側のDMP11、7のイン端子を接続します。

- デジタル部でカスケードされるために、音の劣化がありません。
- 接続には、別売のYAMAHAデジタルオーディオケーブル<YDC803(3m)、YDC805(5m)、YDC815(15m)>をご使用ください。

33 [STEREO OUT] ステレオアウト端子

平衡出力(XLRタイプ)と、不平衡出力端子で、規定出力レベル、及び、適合インピーダンスは、平衡出力は $+4\text{dBm}/600\Omega$ 、不平衡出力は $+4\text{dBm}/10\text{k}\Omega$ です。

34 [FOOT VOL] フットボリューム端子

この端子に別売りのフットコントローラーFC7を接続すると、ステレオアウトの出力レベルを、フットコントローラーからコントロールできます。

35 [MIDI] MIDI端子

MIDIコントロール用のイン、アウト、スルー端子です。

03：メモリーの考え方

03-01：メモリープロテクト

パワーオン時には、本体内のデータを誤って消してしまわないように、メモリープロテクトがオンになっています。作成したプログラムをメモリーにストアする場合には、このメモリープロテクトをオフにする必要があります。オフにする方法は、09-01：メモリープロテクト (P.26) を参照してください。

03-02：エディットバッファ

使用するとき、メモリーから呼び出したプログラム(シーン)や、あなたが作成したプログラム(シーン)は、エディットバッファ上にあります。

- ・エディットバッファからメモリーに書き込むことを「ストア」といいます。
- ・メモリーからエディットバッファに読み込むことを「リコール」といいます。

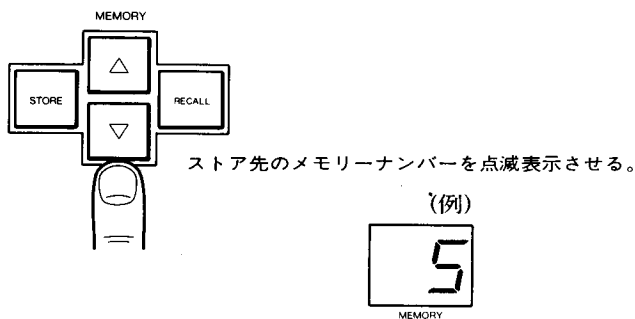
また、リコールしたプログラム(シーン)をエディット(編集、変更)すると、7セグメント右下のドット(小数点)が点灯します。ストアすると、この点灯は消えます。

03-03：メモリースタ

作成したプログラムをメモリーに書き込むことをストアといいます。ここでは、ストアの方法を解説してみましょう。

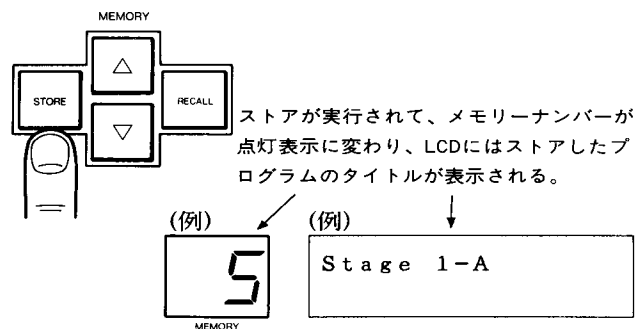
- 1：メモリープロテクトをオフにします。
- 2：ストアしたいメモリーナンバーをアップ/ダウンキーで設定します。
ストア先のメモリーナンバーが点滅表示します。
(この時、メモリーナンバーは、1～96です。)

メモリーナンバーアップ/ダウンキーを押して、



- 3：ストアキーを押します。これで、ストアは終了です。

メモリースタキーを押すと、



注：この時に、以下のようなメッセージが表示されることがあります。

Memory Protect !

メモリープロテクトがオンになっていて、ストアできない状態を示します。(プロテクトをオフにして、ストアしなおしてください。P.26 09-01：メモリープロテクト参照)

Memory No. 0 is Read Only !!

メモリーナンバー0にストアしようとしています。
(メモリーナンバー0は、読み出し専用ですので、ストアすることは、できません。別のメモリーナンバーにストアしなおしてください。)

メモリースタキーを押した時、MIDIアウト端子から、現在選択されているバンクのMIDIベースチャンネルで、メモリースタ・リクエストのメッセージを送信させることができます。
(P.42 11-04：システムモードの変更参照)

03-04 : メモリーリコール

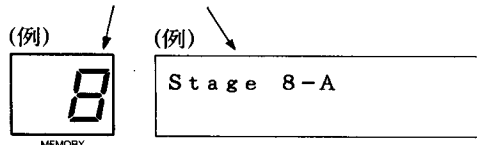
メモリーしてあるプログラムを呼び出すことをリコールといいます。ここでは、リコールの方法を解説してみましよう。

1 : リコールしたいメモリーナンバーをアップ/ダウンキーで設定します。

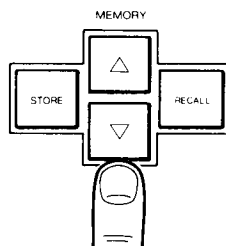
リコールするメモリーナンバーが点滅します。

(この時、メモリーナンバーは、0~96です。但し、0は、イニシャルデータです。)

メモリーナンバーディスプレイに点滅表示されるプログラムのメモリーナンバー、およびLCDに表示されるプログラムのタイトルを見ながら、

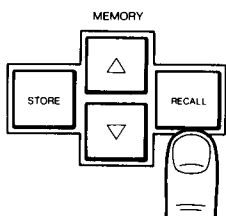


メモリーナンバーアップ/ダウンキーで指定。

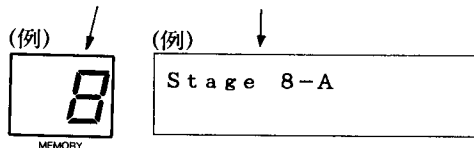


2 : リコールキーを押します。これで、リコールは終了です。

メモリーリコールキーを押すと、



手順"1"で指定したプログラムが表示される。



注：この時に、以下のようなメッセージが表示されることがあります。

>> Caution !! <<
>> No Data <<

データの存在しないメモリーをリコールしています。
(データの存在しているメモリーをリコールしてください。)

04：フェーダー、及び、フェーダーステータスについて

DMP11では、フェーダーが示す位置と、呼び出したメモリー内部のレベルが違う場合があります。

その場合に、フェーダーステータスを用いて、そのレベルの確認と、レベルの設定をメモリーと同じにする方法があります。フェーダーステータスキーを押す毎に、表示を切り替えることができます。また、フェーダーは、メモリーと一致するか、最小に絞り込まれないと機能しません。

〈グラフィック表示〉

フェーダーのメモリー値が、LCDにグラフィックで表示されます。LCD表示の値を参考にフェーダーの位置を合わせるか、フェーダーを絞り込むことにより、フェーダーが有効となり、LCDのグラフィックもフェーダーと連動します。フェーダーが無効になっている状態では、フェーダーを動かしてもLCDのグラフィックは変化しません。

但し、フェーダーを絞り込むことによってフェーダーを有効にするかしないかは、11-04：システムモードの変更(P.42)で設定することができます。

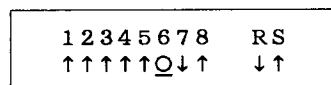
(例)



〈ベクトル表示〉

メモリーリコール、フェーダーフリップ、SEND1、2の切り替え等でフェーダーの位置とメモリー内容が一致しなくなったときに、両者が一致するか、フェーダーが絞り込まれるまで、フェーダーはその機能を果たしません。LCDに表示される矢印に従いフェーダーを動かすと、メモリーとフェーダーを一致させることができます。そのときLCD表示は”o”となります。現在、セレクトキーで選択されているチャンネルの位置をカーソルが示します。

(例)



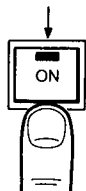
05：チャンネルインプット

05-01：チャンネルオン/オフ

各チャンネルをオン/オフします。

- ・チャンネルオンキーを押して、チャンネルのオン/オフを指定します。
- ・オンにするチャンネルはキー内のLEDを点灯させ、オフにするチャンネルは、キー内のLEDを消灯させます。

チャンネルのオン/オフはチャンネルオンキーで指定する。
LEDによりオン/オフを確認できる。



05-02：チャンネルレベル

各チャンネルのレベルを設定します。

- 1：フェーダーフリップキー内のLEDが消灯していることを確認します。

(フェーダーフリップキーを押して消灯してください。)

LEDが消灯していることを確認する。



- 2：フェーダー1～8で、それぞれのチャンネルのレベルを設定します。

注：フェーダーの状態をLCDに示すことができます。表示には、2種類の方法があります。その方法については、04：フェーダー、及び、フェーダーステータスについて (P.10) をご覧ください。

05-03：パン

各チャンネルの音像定位を設定します。

- 1：設定するチャンネルのチャンネルセレクトキーを押します。
- 2：パン/フェイズキーを押して、パンパラメーター表示にします。

パン/フェイズキーを押して、



(例)

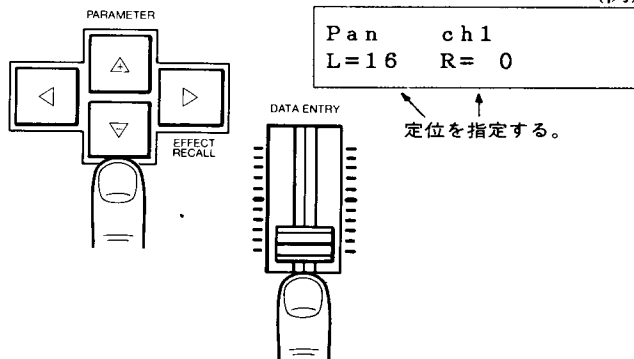
Pan ch1
L= 8 R= 8

パンパラメーターの表示にする。

- 3：パラメーターアップ/ダウン/レフト/ライトキー、またはデータエントリースライダーで定位を指定します。

パラメーターキーまたはデータエントリースライダーで、

(例)



05-04：フェイズ

各チャンネルの入力信号の位相を反転します。(コネクタのピン配列、及び、配線の違いによって生じる位相反転を防ぐことができます。)

- 1：設定するチャンネルのチャンネルセレクトキーを押します。
- 2：パン/フェイズキーを押して、フェイズパラメーター表示にします。

パン/フェイズキーを押して、



(例)

Phase ch1
NORMAL

フェイズパラメーターの表示にする。

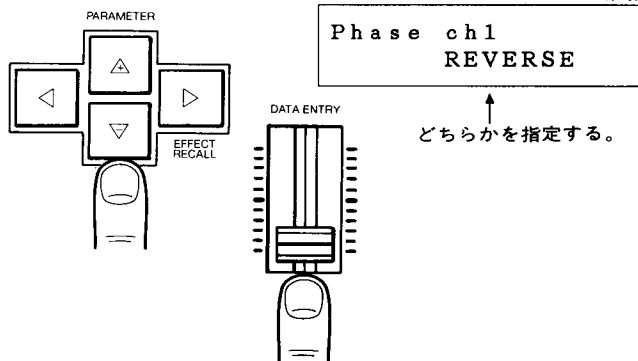
- 3：パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで定位を指定します。

NORMAL：位相はそのままです。

REVERSE：位相を反転します。

パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、

(例)

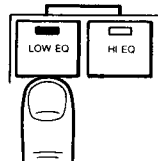


05-05 : イコライザー

各チャンネルのイコライザーLOW EQ、HI EQの設定をします。

- 1 : 設定するチャンネルのチャンネルセレクトキーを押します。
- 2 : 設定する帯域のキーを押します。このキーを押す毎に、EQのオン/オフを設定できます。

設定する帯域のキーを押す。

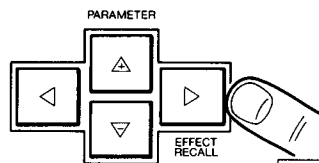


- 3 : オンの場合には、パラメーターが表示されます。パラメーターレフト/ライトキーを押して、設定するパラメーターの位置まで、カーソルを移動させます。

(例)

フリケンシー : F	ゲイン : G
Q = 100Hz G = + 0dB	Q : Q
Q = 0.7 PEAK CH-1	タイプ : SHLV, PEAK, DYNA

パラメーターレフト/ライトキーで、



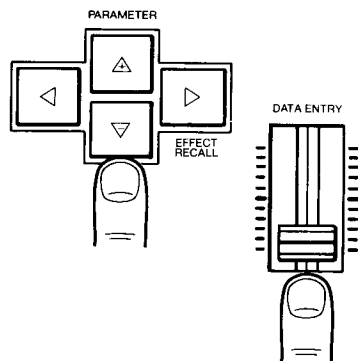
(例)

F = 100Hz G = + 0dB
Q = 0.7 PEAK CH-1

↑
カーソルを移動する。

- 4 : カーソルの位置のパラメーターを、パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで指定します。

パラメーターアップ/ダウンキーまたは、データエントリースライダーで、



(例)

F = 100Hz G = + 0dB
Q = 2.0 PEAK CH-1

↑
値を指定する。

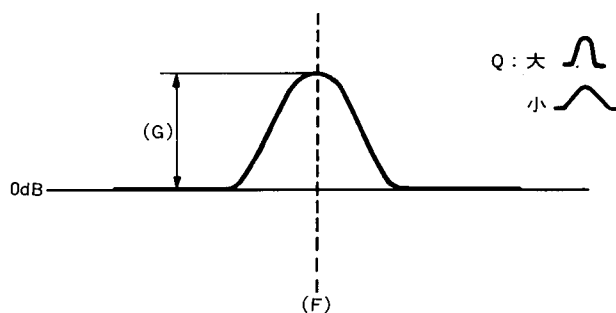
注 : イコライザータイプはSHELVING、PEAKING、DYNAMICの中から選択でき、SHELVINGの時には、Qの値の設定はできません。

DYNAMICの時には、ベル型フィルターの中心周波数を掃引できます。

また、本機はデジタルイコライザーを採用しているため、HI EQの場合のみ、SHELVINGのフリケンシー(F)の設定が32Hz~1kHzの低周波数で、ゲイン(G)の設定が±7dB~±15dBの場合にイコライザータイプの切り替えを行うと、一瞬、低周波ノイズが発生する場合があります。

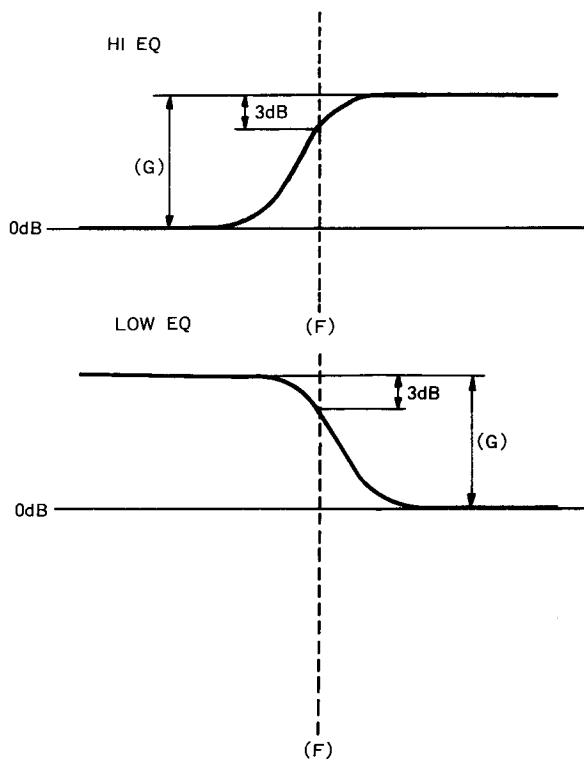
参考 : イコライザーのタイプについて (PEAK/SHLV)
<PEAK>

その周波数帯域の周辺にしか効果がかかりません。



<SHLV>

その周波数を境に、それ以上 (またはそれ以下) の帯域全てに効果がかかります。

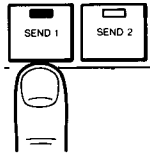


05-06 : エフェクトセンドプリ/ポスト

各チャンネルのチャンネルエフェクトセンド1、2の信号の取り出し位置を、別々に設定します。

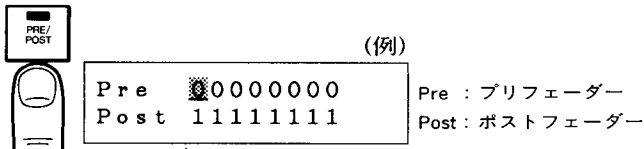
- 1 : チャンネルエフェクトセンド1、2のうち、どの系統の取り出し位置を設定するかを選択します。(センド1、2キー)

指定する系統に対応するキーを押す。



- 2 : プリ/ポストキーを押して、プリ/ポストの表示にします。

プリ/ポストキーを押して、

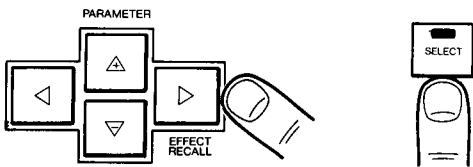


“1”の操作で指定した系統のプリ/ポストの設定を表示させる。

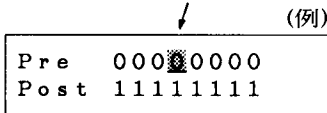
・左から順にチャンネル1~8です。

- 3 : パラメーターレフト/ライトキーを押して、設定を変えるチャンネルまで、カーソルを移動します。また、カーソルの移動は、設定を変えるチャンネルのチャンネルセレクトキーを押しても可能です。

パラメーターレフト/ライトキーまたはチャンネルセレクトキーで、

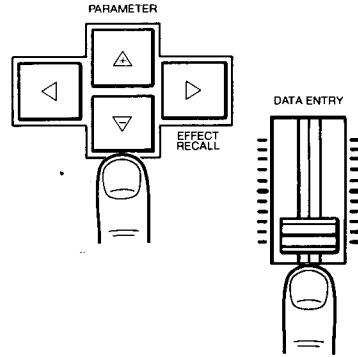


カーソルを移動する。

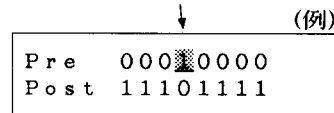


- 4 : パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、そのチャンネルのプリ/ポストの指定をします。

パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、



“1”と“0”の表示を逆にする。“1”を表示させた方が、そのチャンネルの取り出し位置)
たとえば、この表示の場合は、チャンネル4だけがプリフェーダーで、その他はポストフェーダーとなっている。

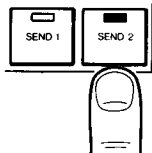


05-07 : エフェクトセンドレベル

各チャンネルのチャンネルエフェクトセンド1、2レベルを、それぞれ設定します。

- 1 : チャンネルエフェクトセンド1、2のうち、どの系統の送出レベルを設定するかを指定します。(センド1、2キー)

設定する系統に対応するキーを押す。



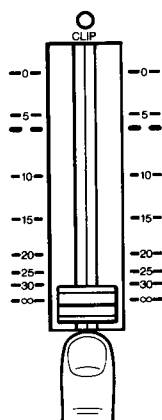
- 2 : フェーダーフリップキーを押して、キー内のLEDを点灯させます。すると、フェーダー1~8が指定した系統のフェーダーになります。

フェーダーフリップキーを押して、
キー内のLEDを点灯させると、



フェーダー1~8が“1”の操作で指定した系統のフェーダーとなる。
たとえば、“1”の操作でSEND2を押していたなら、フェーダー1~8は、
左から順に、チャンネル1のCH EFFECT SEND 2 LEVEL、チャンネル
2のCH EFFECT SEND 2 LEVEL、……のようになる。

- 3 : 指定した系統の送出レベルを、フェーダー1~8で、チャンネル毎に設定します。



注 : フェーダーの状態をLCDに示すことができます。表示には、2種類の方法があります。その方法については、
04 : フェーダー、及び、フェーダーステータスについて (P.10) をご覧ください。

06 : エフェクターマスター

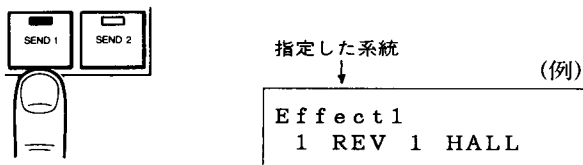
06-01 : エフェクトセレクト

各系統（エフェクトセンド1、2）で使用するエフェクトプログラムを、それぞれ指定します。

エフェクト1は、20種類の中から、エフェクト2は5種類の中から選択できます。

1 : エフェクト1、2のうち、どの系統のプログラムを選択するかを設定します。（センド1、2キー）

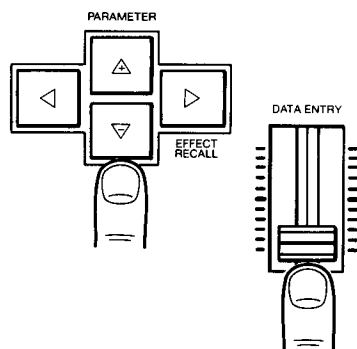
選択する系統に対応するキーを押すと、



その系統で、それまで選択されていたエフェクトプログラムが表示される。

2 : パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、その系統で使用するエフェクトプログラムを指定します。

パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、



(例)

Effect 1
7 CHORUS A

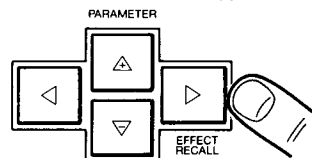
その系統で使用するエフェクトプログラムを点滅表示させる。

選択できるプログラムは、次のとおりです。

	EFFECT 1		EFFECT 2
1	REV 1 HALL	1	STEREO ECHO
2	REV 2 ROOM	2	FLANGE
3	REV 3 VOCAL	3	CHORUS
4	REV 4 PLATE	4	PHASING
5	FLANGE A	5	PAN POT
6	FLANGE B		—
7	CHORUS A		—
8	CHORUS B		—
9	PHASING		—
10	TREMOLO		—
11	SYMPHONIC		—
12	EARLY REF.1		—
13	EARLY REF.2		—
14	GATE REVERB		—
15	REVERSE GATE		—
16	DELAY L & R		—
17	STEREO ECHO		—
18	PITCH CHANGE A		—
19	PITCH CHANGE B		—
20	PITCH CHANGE C		—

3 : エフェクトリコールキー（パラメーターライトキー）を押して、指定したエフェクトプログラムを呼び出します。

エフェクトリコールキーを押すと、



(例)

Effect 1
7 CHORUS A

“2”の操作で指定したエフェクトプログラムが呼び出され、点灯表示に変わる。

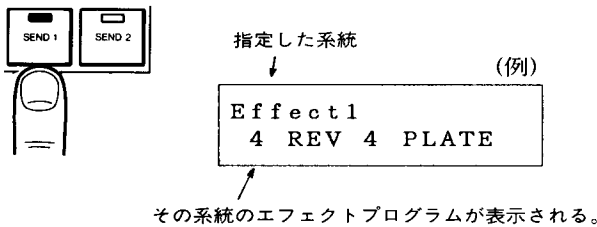
06-02 : エフェクトパラメーター&エフェクトのストア

エフェクトセレクトの機能で選択した、それぞれの系統のエフェクトプログラムの効果の具合(エフェクトパラメーター)を設定します。また、設定したエフェクトをストアすることができます。

〈エフェクトパラメーター〉

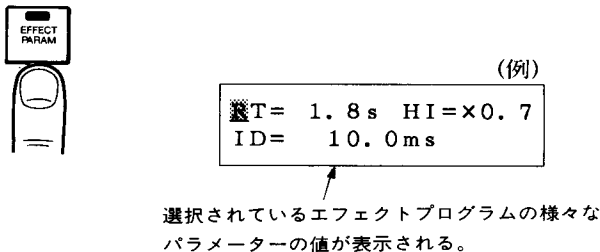
- 1 : 設定を行う系統のキー (SEND 1、2キー) を押して、その系統のエフェクトプログラム名を表示させます。

設定する系統に対応するキーを押すと、



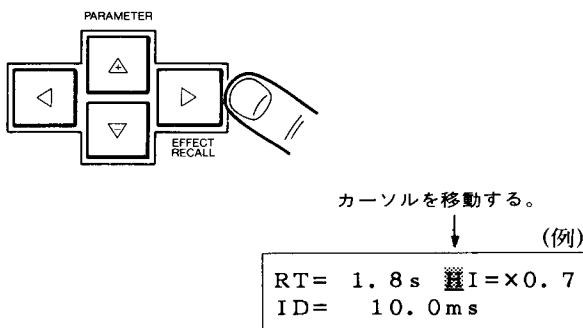
- 2 : エフェクトパラメーターキーを押して、エフェクトパラメーター表示にします。

エフェクトパラメーターキーを押すと、



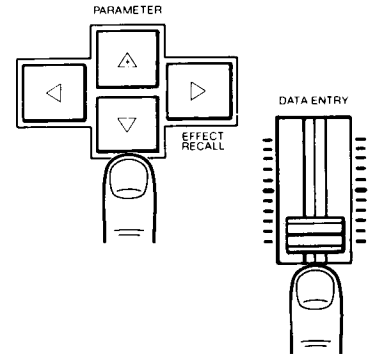
- 3 : パラメーターレフト/ライトキーを押して、設定を変えるパラメーターの位置まで、カーソルを移動します。(エフェクトプログラムによっては、パラメーター表示が2画面に分かれているものがあります。第1画面と第2画面の切り替えは、特別な操作をする必要はありません。パラメーターレフト/ライトキーを普通に操作してカーソルを移動させていけば、自然に切り替わります。)

パラメーターレフト/ライトキーで、



- 4 : パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、そのパラメーターの設定値を変えます。

パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、

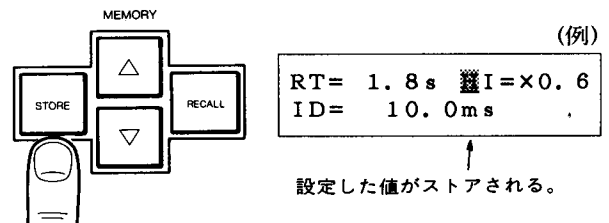


〈エフェクトのストア〉

LCD表示がエフェクトパラメーターのときにストアキーを押すと、メモリースタと同時に、LCD上で設定したパラメーターの値が、そのエフェクトのプリセット値として記憶されます。

- 1 : スタキーを押すと、“Are You Sure?” と表示されます。
- 2 : もう1度ストアキーを押すと、ストアが実行されます。このときに、その他のキーを押すとキャンセル (ストアの取り消し) できます。

ストアキーを2回押すと、



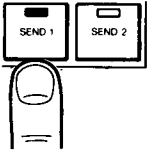
注 : エフェクトのストアには、メモリープロテクトは関係ありません。エフェクトのプリセット値のみを記憶させたい場合には、メモリープロテクトオンの状態にしておくか、メモリーナンバー0に対して、ストアを実行します。

06-03 : エフェクトリターンレベル

各系統のエフェクトリターンレベルを、それぞれ設定します。

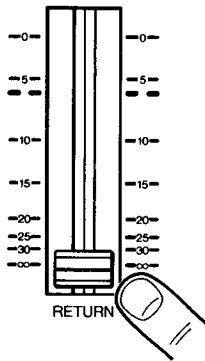
- 1 : エフェクトリターン1、2レベルのうち、どの系統のリターンレベルを設定するかを、指定します。

設定する系統に対応するキーを押すと、



エフェクトリターンフェーダーが、その系統のフェーダーになる。

- 2 : 指定した系統のリターンレベルを、エフェクトリターンフェーダーで設定します。



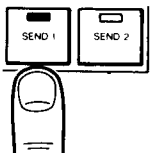
注：フェーダーの状態をLCDに示すことができます。表示には、2種類の方法があります。その方法については、04：フェーダー、及び、フェーダーステータスについて（P.10）をご覧ください。

06-04 : エフェクトリターンバランス

各系統のエフェクトリターンバランスを、それぞれ設定します。

- 1 : 設定を行う系統のキー（センド1、2キー）を押して、その系統のエフェクトプログラム名を表示させます。
- 2 : もう1度、そのキー（センド1、2キー）を押します。

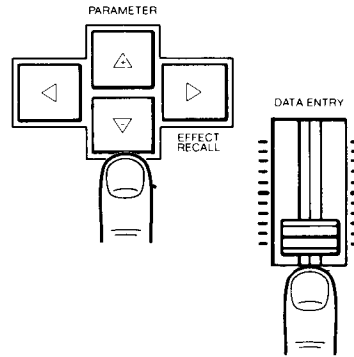
2回押す。



(例)
Eff1 Rtn Balance
L= 8 R= 8

- 3 : パラメーターアップ/ダウン/レフト/ライトキー、またはデータエントリースライダーで、そのパラメーターの設定値を変えます。

パラメーターキーまたはデータエントリースライダーで、



(例)

Eff1 Rtn Balance
L=16 R= 0

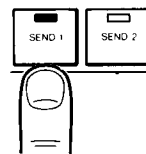
↑ ↑
バランスを指定する。

06-05 : エフェクトリターンオン/オフ

各系統のエフェクトリターン信号の送出を、ステレオミキシングバスの手前でオン/オフできます。

- 1 : エフェクトリターン1、2のうち、どの系統をオン/オフするかを指定します。（センド1、2キー）

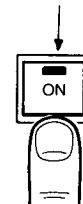
設定する系統に対応するキーを押すと、



リターンオンキーが、その系統のオン/オフキーになる。

- 2 : 指定した系統のエフェクトリターン信号の送出をオン、またはオフさせます。

リターンオンキーを押して、キー内のLEDを点灯させるとオン、消灯させるとオフになる。

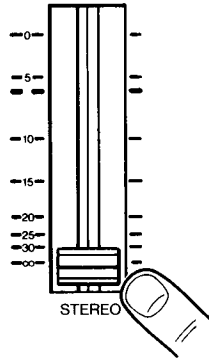


07：ステレオマスター

07-01：ステレオレベル

ステレオアウト端子への出力レベルを設定できます。

- 1：ステレオフェーダーで設定します。ステレオレベルメーターを見ながら設定できます。(ヘッドホン端子への出力レベルも、この設定により決まります。)



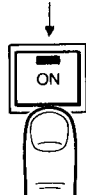
注：フェーダーの状態をLCDに示すことができます。表示には、2種類の方法があります。その方法については、04：フェーダー、及び、フェーダーステータスについて (P.10) をご覧ください。

07-02：ステレオオン/オフ

ステレオアウト端子への出力をオン/オフできます。

- 1：ステレオオンキーを押して、出力のオン/オフを指定します。(ヘッドホン端子への出力のオン/オフも、この設定により決まります。)

ステレオオンキーを押して
キー内のLEDを点灯させるとオン、
消灯させるとオフになる。



07-03：フットボリューム

リアパネルのフットボリューム端子に別売りのフットコントロールローラーFC7を接続することにより、ステレオアウト端子への出力レベルを、足元でコントロールすることが可能となります。

- ・フットコントロールローラーを接続した場合でも、ステレオフェーダーは機能します。
- ・フットコントロールローラーでコントロールできる範囲は、フェーダーで設定した位置を最大として、それ以下です。

07-04：ソロ

ソロ機能を使うことにより、希望する信号のみ、ステレオアウト端子に出力させることができます。対象となる信号は、チャンネル1~8の信号及びエフェクトリターン1、2の信号です。

- 1：ソロキーを押します。ソロキーを押すと、ソロキー内のLED、全チャンネルのチャンネルオンキー、リターンオンキーが一斉に点滅表示となります。(この時点では、音に変化はありません。)

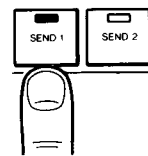
ソロキーを押すと、



ソロキーを始め、全チャンネルのチャンネルオンキー、リターンオンキーが一斉に点滅を始める。

- 2：エフェクトリターン信号を出力させる場合は、まずセンド1、2キーのうち、出力させる系統のキーを押します。

その系統に対応するキーを押す。



- 3：エフェクトリターン信号を出力させる場合は、次にリターンオンキーを押します。(但し、エフェクトセンドレベルが上がっているチャンネルがオンになっている必要があります。)
ソロ出力を解除したい場合は、もう1度リターンオンキーを押します。

リターンオンキーを押すと、



キー内のLEDが点灯表示に変わって、
"2" で指定した系統のエフェクトリターン信号
以外は、ミュートされます。

- 4：チャンネル信号を出力させる場合は、出力させるチャンネルのチャンネルオンキーを押します。すると、そのチャンネル以外の出力はミュートされます。

チャンネルオンキーを押すと、



キー内のLEDが点灯表示に変わって、
そのチャンネルの信号以外は、ミュートされます。

- 5：ソロ機能を解除する場合には、ソロキーを押します。また、ソロ機能使用中にメモリーリコールが行なわれた場合にも、ソロ機能は解除されます。

08 : エフェクトパラメーター

ここでは、エフェクトプログラムの概要および各パラメーターの説明をします。

—EFFECT 1のプログラム—

08-01 : リバーブ1、2、3、4

REV 1 HALL

ホール内での音響感が得られるリバーブレーションプログラムです。

REV 2 ROOM

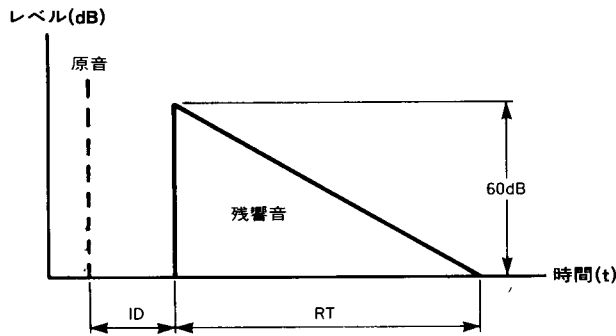
部屋の中での音響感が得られるリバーブレーションプログラムです。

REV 3 VOCAL

ボーカル用を意識したリバーブレーションプログラムです。

REV 4 PLATE

鉄板の持つ響きが得られるリバーブレーションプログラムです。



①RT (Reverb Time : 0.3s~99.0s)

約1kHzの残響音が、60dB減衰するまでの時間 (RT60) です。値を大きくするほど、残響時間が長くなります。

②HF(High Frequency Reverb Time Ratio : ×0.1~×1.0)

高音域の残響時間を、RTに対する乗数値で設定できます。たとえばRTの時間を2.0sにして、このパラメーターの設定を×0.3にすると、高音域の残響時間は0.6秒になります。このパラメーターにより、反射面の材質(高域の減衰特性)をシミュレートできることとなります。

③ID (Initial Delay : 0.1ms~1000.0ms)

残響音が発生し始めるまでの時間です。イメージの中での音源や反射面までの距離感です。

④HPF (High Pass Filter : THRU, 32Hz~1000Hz)

残響音の低域成分をカットするフィルターのカットオフ周波数です。

カットオフのスロープは、6dB/oct.固定です。

⑤LPF (Low Pass Filter : 1.0kHz~18.0kHz, THRU)

残響音の高域成分をカットするフィルターのカットオフ周波数です。

カットオフのスロープは、6dB/oct.固定です。

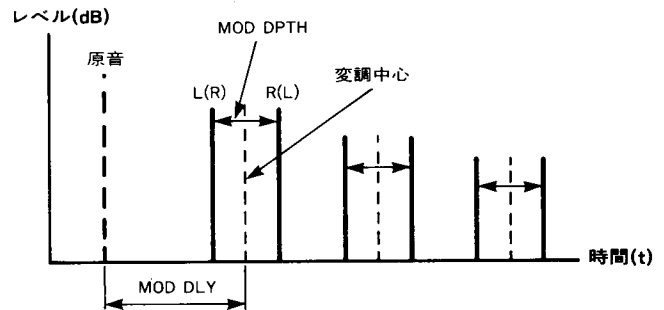
08-02 : フランジA、B

FLANGE A

FLANGE B

エコー音のディレイタイムをL-ch, R-ch逆位相で変調したプログラムです。

FLANGE AはBに対して、うねりのスピードは速く、うねり具合は浅い状態でプリセットされています。



①MOD FREQ (Modulation Frequency : 0.1Hz~20.0Hz)

③のMOD DLYを変調するスピード(周波数)です。音質変化のスピードとなります。

②MOD DPTH (Modulation Depth : 0%~100%)

変調(音質変化)の深さです。

③MOD DLY (Modulation Delay Time : 0.1ms~100.0ms)

原音から、効果音の変調中心までの時間です。この時間は効果音同士の間隔にもなり、②のMOD DPTHとの関係により、効果音同士を干渉させてうねりを発生させます。1ms以下の値にすると高音域での干渉が得られ、1~3ms程度の値にすると中低音域までの干渉が得られます。

④FB GAIN (Feed Back Gain : 0%~99%)

ディレイ回路の出力を、入力側へフィードバックさせる割合です。

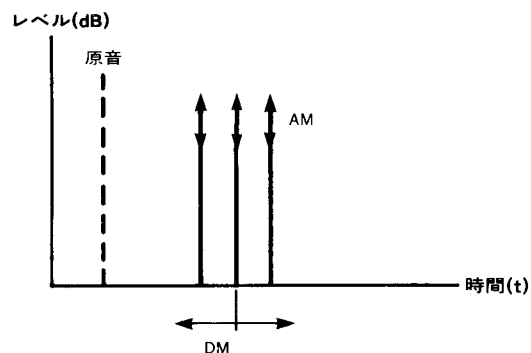
08-03 : コーラス A、B

CHORUS A

CHORUS B

ディレイタイムがわずかに異なる複数の音を発生させ、ディレイタイムと振幅を変調したプログラムです。

CHORUS AはBに対して、揺れのスピードは遅く、揺れ具合は深い状態でプリセットされています。



①MOD FREQ (Modulation Frequency : 0.1Hz~20.0Hz)

ディレイタイムを変調するスピード (周波数) です。揺れのスピードとなります。

②DM (Delay Time Modulation Depth : 0%~100%)

ディレイタイム変調の深さです。L-R間の揺れの幅となります。

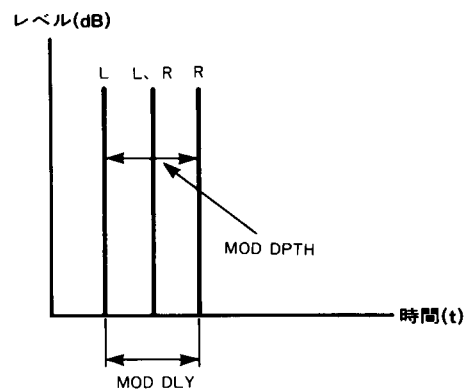
③AM (Amplitude Modulation Depth : 0%~100%)

振幅変調の深さです。音量の変化幅となります。

08-04 : フェイジング

PHASING

原音をL-Ch側から、MOD DLY後の音をR-ch側から、さらにMOD DLYを変調させた音を中央 (両方) から発生させるプログラムです。



①MOD FREQ (Modulation Frequency : 0.1Hz~20.0Hz)

②MOD DPTH (Modulation Depth : 0%~100%)

③MOD DLY (Modulation Delay Time : 0.1ms~5.8ms)

※パラメーターの定義は、FLANGE A,Bを参照してください。

08-05 : トレモロ

TREMOLO

CHORUS A,Bの変調をより多重化し、振幅変調 (音量変化) を強調したプログラムです。

①MOD FREQ (Modulation Frequency : 0.1Hz~20.0Hz)

②MOD DPTH (Modulation Depth : 0%~100%)

※パラメーターの定義は、FLANGE A,Bを参照してください。

08-06 : シンフォニック

SYMPHONIC

CHORUS A,Bの変調をより多重化し、ディレイタイム変調 (時間的变化) を強調したプログラムです。

①MOD FREQ (Modulation Frequency : 0.1Hz~20.0Hz)

②MOD DPTH (Modulation Depth : 0%~100%)

※パラメーターの定義は、FLANGE A,Bを参照してください。

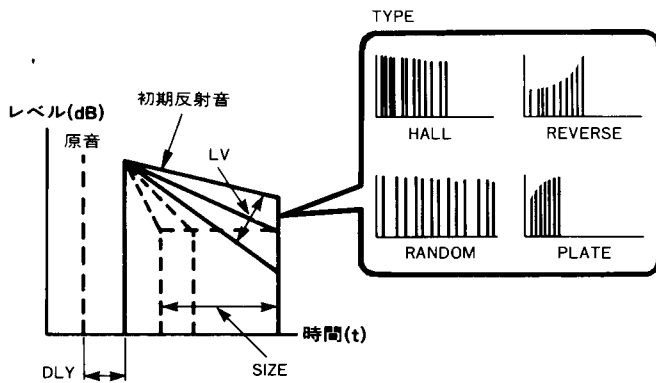
08-07 : アーリーリフレクション1、2

EARLY REF. 1

EARLY REF. 2

音場の性質を決定するうえで重要な影響力をもつ初期反射音のみを、残響音から取り出したプログラムです。

EARLY REF. 1は反射音の数が少ない(Low DENSITY)タイプ、EARLY REF. 2は反射音の数が多(HIGH DENSITY)タイプです。



① TYPE (Early Reflection Type : HALL , RANDOM , REVERSE, PLATE)

初期反射音のエコータイムパターンです。EARLY REF. プログラムでは、このパラメーターの設定 (パターンの選択) がエディットの基本となりますので、エディットの際にはまず、この4種類の中から希望するパターンを選びます。

② SIZE (Room Size : 0.1~20.0)

部屋の大きさをシミュレートするパラメーターです。値を大きくするほど反射音同士の間隔が広がり、大きな空間の感じになります。

③ LV (Liveness : 0~10)

初期反射音の減衰特性です。値を大きくするほどライブな感じになります。部屋の吸音特性をシミュレートできるパラメーターです。

④ DLY (Delay Time : 0.1ms~1000.0ms)

初期反射音が発生し始めるまでの時間です。イメージの中での音源や反射面までの距離感です。

⑤ LPF (Low Pass Filter : 1.0kHz~18.0kHz, THRU)

初期反射音の高域成分をカットするフィルターのカットオフ周波数です。カットオフのスロープは、6dB/oct. 固定です。

08-08 : ゲートリバーブ、リバーズゲート

GATE REVERB

REVERSE GATE

EARLY REF. 2プログラムを、ゲートリバーブ用にアレンジしたプログラムです。

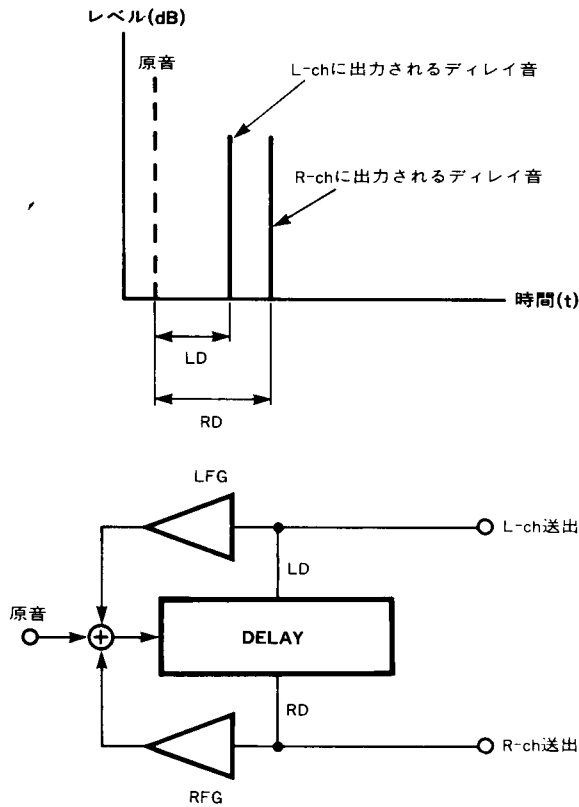
GATE REVERBは一般的な感じのゲートリバーブ効果、REVERSE GATEは逆回転の感じのゲートリバーブ効果を想定してあります。

※パラメーターの定義および可変範囲は、EARLY REF.1,2を参照してください。

08-09 : デレイL&R

DELAY L&R

ステレオタイプのディレイプログラムです。



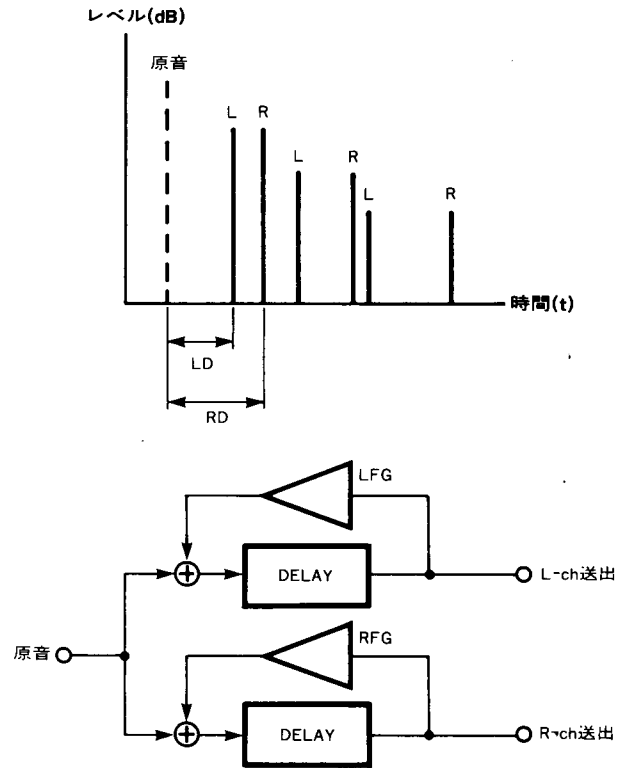
- ①LD (L-ch Delay Time : 0.1ms~1400.0ms)
L-chのディレイ音が発生し始めるまでの時間です。
- ②LFG (L-ch Feed Back Gain : 0%~99%)
ディレイ回路のL-chの出力を、入力側へフィードバックさせる割合です。
- ③RD (R-ch Delay Time : 0.1ms~1400.0ms)
R-chのディレイ音が発生し始めるまでの時間です。
- ④RFG (R-ch Feed Back Gain : 0%~99%)
ディレイ回路のR-chの出力を、入力側へフィードバックさせる割合です。
- ⑤HIGH (Feed Back High : $\times 0.1 \sim \times 1.0$)
高域成分のフィードバック量を、フィードバック信号全体に対する乗数値で設定できます。
値を小さくするほど、高域のフィードバック量が少なくなります。

※フィードバック量の設定によっては、発信状態になることがありますのでご注意ください。

08-10 : ステレオエコー

STEREO ECHO

ステレオのエコープログラムです。



- ①LD (L-ch Delay Time : 0.1ms~700.0ms)
L-chのディレイ音が発生し始めるまでの時間です。
- ②LFG (L-ch Feed Back Gain : 0%~99%)
L-chのディレイ回路の出力を、L-chのディレイ回路の入力側へフィードバックさせる割合です。
- ③RD (R-ch Delay Time : 0.1ms~700.0ms)
R-chのディレイ音が発生し始めるまでの時間です。
- ④RFG (R-ch Feed Back Gain : 0%~99%)
R-chのディレイ回路の出力を、R-chのディレイ回路の入力側へフィードバックさせる割合です。
- ⑤HIGH (Feed Back High : $\times 0.1 \sim \times 1.0$)
L-ch,R-chの高域成分のフィードバック量を、それぞれのフィードバック信号全体に対する乗数値で設定できます。
値を小さくするほど、高域のフィードバック量が少なくなります。

※フィードバック量の設定によっては、発信状態になることがありますのでご注意ください。

08-11 : ピッチチェンジA、B、C

PITCH CHANGE A

声や楽器を入力し、ピッチ（音程）を変えた音を発生させるプログラムです。

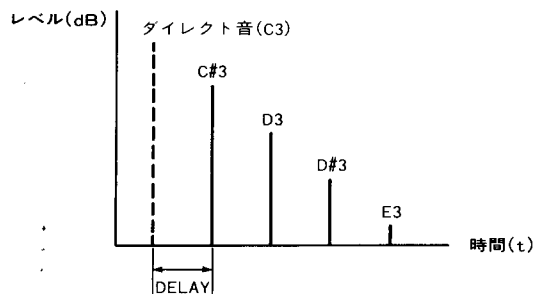
ピッチ変化の量は±1オクターブの範囲で指定でき、フィードバックの設定をすることにより、ピッチ変化を伴った繰り返し音を発生させることもできます。

たとえば、ピッチ変化量を“+1”（+半音）にすると共にフィードバックを上げ、C3の音を入力すると、C3の次にC#3の音、次にD3の音、次にD#3の音、……の用に発生します。

また、リアパネルのMIDIイン端子に接続したMIDIキーボードなど外部MIDI機器によって、ピッチの変化量をリアルタイムでコントロールすることも可能です。

プリセットプログラムは、ピッチ変化量が“+0”の状態になっています。

（例）ピッチ変化量を“+1”にしてフィードバックを上げ、C3を入力した場合。



①PITCH (Pitch : -12~+12)

ピッチチェンジ音の、元の音の音程に対する音程差です。半音単位で指定でき、“-12”で1オクターブ下の音、“+12”で1オクターブ上の音が発生します。“+0”では元の音と同じ音程の音が発生します。

なお、フィードバックをかけた場合、この音程差は、ピッチチェンジ音同士の音程差にもなります。たとえば、このパラメーターの設定を“+2”にし、フィードバックの設定をしたとすると、元の音（ダイレクト音や原音）と1つ目のピッチチェンジ音の音程差は2半音、1つ目と2つ目のピッチチェンジ音の音程差も2半音、……のようになります。

②FINE (Fine : -100~+100)

1セント（1/100ピッチ）単位の微調整量です。

たとえば、+100セントを指定すると、PITCHで指定した音よりも半音高い音が発生するようになります。

③DELAY (Delay Time : 0.1msec~400.0msec)

1音めのピッチチェンジ音が発生するまでの時間です。

この時間は、フィードバックをかけた場合のピッチチェンジ音同士の時間間隔にもなります。

④FG (Feed Back Gain : 0%~99%)

エフェクト回路から出力されたピッチチェンジ音を、エフェクト回路の入力側へ戻す割合です。

値を大きくするほど、ピッチチェンジ音の繰り返し回数が多くなります。

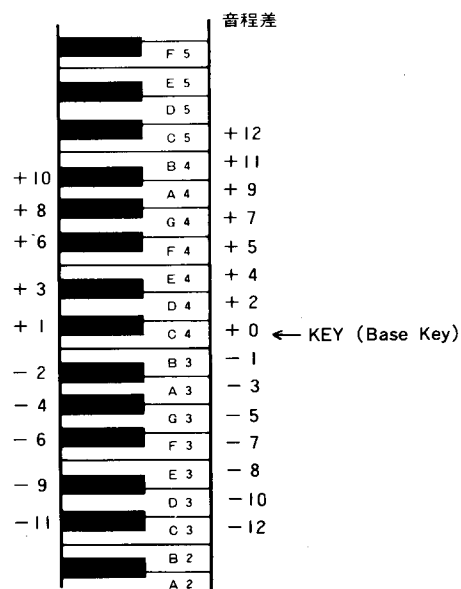
⑤KEY (Base Key : OFF,C1~C6)

接続したMIDI機器のノートオン・メッセージで、ピッチチェンジ音の音程をコントロールする場合は、このパラメーターを設定しておきます。

このパラメーターではベースキーを指定できますが、発生されるピッチチェンジ音の元の音との音程差は、指定したベースキーと送られてきたノートオン・メッセージの音程差によって決まります。

たとえば、ベースキーをC4にした場合、ノートオン・メッセージのC3を受けると入力された音よりも1オクターブ下の音、D4を受けると入力された音よりも2半音高い音が発生されます。

（例）KEY (Base Key) = C4にした場合、各鍵盤を弾いたときの元の音との音程差は次のようになります。



※ピッチチェンジ音の元の音との音程差は、±12音の範囲に制限されます。この範囲を外れると、ピッチチェンジ音は発生されません。

※ベースキー=OFFにすると、ノートオン・メッセージでの音程制御は禁止されます。

※ノートオン・メッセージで音程制御する場合は、①のPITCHパラメーターの設定は関係なくなります。

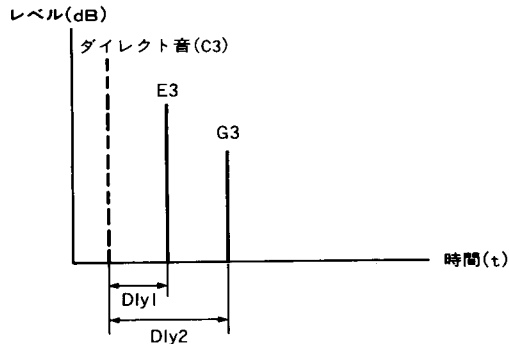
※フィードバック量の設定によっては、発振状態になることがありますのでご注意ください。

PITCH CHANGE B

“PITCH CHANGE A”と同様に、音程の異なる音を発生させるプログラムで、センター定位で2音のピッチチェンジ音を発生させることが可能です。

なお、ダイレクト音とミックスすることにより、3音の和音にすることも可能です。

(例) ピッチ変化量を“+4”と“+7”にして、C3を入力した場合。



※PITCH CHANGE A、B、Cの主な違いを表にすると、次のようになります。

エフェクトプログラム名	ピッチ変化	フィードバック	MIDIでのピッチコントロール
PITCH CHANGE A	1音	○	○
PITCH CHANGE B	2音 (センター定位)	×	×
PITCH CHANGE C	2音 (L,R 各1音)	×	×

①P1 (Pitch 1 : -12 ~ +12)

片方のピッチチェンジ音の音程差です。元の音程に対する音程差を指定してください。半音単位で指定できます。

②F1 (Fine 1 : -100 ~ +100)

片方のピッチチェンジ音の微調整量です。単位は、1セント (1/100ピッチ) です。

③Dly1 (Delay Time 1 : 0.1msec ~ 200.0msec)

片方のピッチチェンジ音が発生するまでの時間です。

④P2 (Pitch 2 : -12 ~ +12)

もう一方のピッチチェンジ音の音程差です。元の音の音程に対する音程差を指定してください。

⑤F2 (Fine 2 : -100 ~ +100)

もう一方のピッチチェンジ音の微調整量です。

⑥Dly2 (Delay Time 2 : 0.1msec ~ 200.0msec)

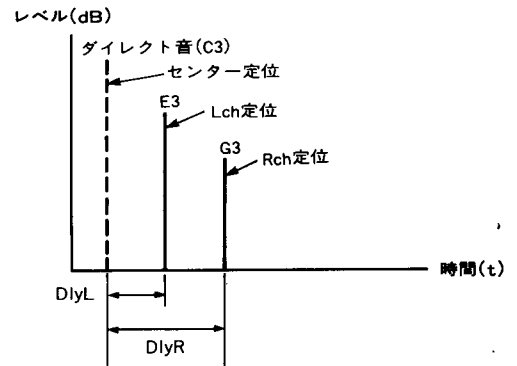
もう一方のピッチチェンジ音が発生するまでの時間です。1~3のパラメーターで設定したピッチチェンジ音よりも早く発生させることも可能です。

PITCH CHANGE C

“PITCH CHANGE B”と同様に、音程の異なる音を2音発生させるプログラムですが、定位はセンター定位でなく、LchとRchに1音ずつ定位させることができます。

なお、ダイレクト音とミックスすることにより、3音の和音にすることも可能です。

(例) Lchに発生させるピッチ変化量を“+4”、Rchに発生させるピッチ変化量を“+7”にして、C3を入力した場合。



①PL (Pitch Lch : -12 ~ +12)

Lchのピッチチェンジ音の音程差です。元の音程に対する音程差を指定してください。半音単位で指定できます。

②FL (Fine Lch : -100 ~ +100)

Lchのピッチチェンジ音の微調整量です。

③DlyL (Delay Time Lch : 0.1msec ~ 200.0msec)

Lchのピッチチェンジ音が発生するまでの時間です。

④PR (Pitch Rch : -12 ~ +12)

Rchのピッチチェンジ音の音程差です。元の音の音程に対する音程差を指定してください。

⑤FR (Fine Rch : -100 ~ +100)

Rchのピッチチェンジ音の微調整量です。

⑥DlyR (Delay Time Rch : 0.1msec ~ 200.0msec)

Rchのピッチチェンジ音が発生するまでの時間です。

※PITCH CHANGE A~Cのプログラムは、ピッチを大きく変化させるほど、変化させた音程が、実際の音程と異なって聴こえることがあります。この場合は、FINEのパラメーターで、実際の音程になるように微調整してください。

08-12 : ステレオエコー

STEREO ECHO

ステレオのエコープログラムです。EFFECT SEND 1のエコープログラムとは、ディレイタイムの可変範囲が異なります。

- ①LD (L-ch Delay Time : 0.1ms~175.0ms)
- ②LFG (L-ch Feed Back Gain : 0%~99%)
- ③RD (R-ch Delay Time : 0.1ms~175.0ms)
R-chのディレイ音が発生し始めるまでの時間です。
- ④RFG (R-ch Feed Back Gain : 0%~99%)
- ⑤HIGH (Feed Back High : $\times 0.1 \sim \times 1.0$)

※フィードバック量の設定によっては、発信状態になることがありますのでご注意ください。

※パラメーターの定義は、EFFECT SEND 1 のSTEREO ECHOを参照してください。

08-13 : フランジ

FLANGE

エコー音のディレイタイムをL-ch,R-ch逆位相で変調したプログラムです。

- ①MOD FREQ(Modulation Frequency : 0.1Hz~20.0Hz)
- ②MOD DPTH (Modulation Depth : 0%~100%)
- ③MOD, DLY(Modulation Delay Time : 0.1ms~100.0ms)
- ④F B GAIN (Feed Back Gain : 0%~99%)

※パラメーターの定義は、EFFECT SEND 1 のFLANGE A,Bを参照してください。

08-14 : コーラス

CHORUS

ディレイタイムがわずかに異なる複数の音を発生させ、ディレイタイムと振幅を変調したプログラムです。

- ①MOD FREQ(Modulation Frequency : 0.1Hz~20.0Hz)
- ②DM (Delay Time Modulation Depth : 0%~100%)
- ③AM (Amplitude Modulation Depth : 0%~100%)

※パラメーターの定義は、EFFECT SEND 1 のCHORUS A,Bを参照してください。

08-15 : フェイジング

PHASING

原音をL-ch側から、MOD DLY後の音をR-ch側から、さらにMOD DLYを変調させた音を中央(両方)から発生させるプログラムです。

- ①MOD FREQ(Modulation Frequency : 0.1Hz~20.0Hz)
- ②MOD DPTH (Modulation Depth : 0%~100%)
- ③MOD DLY (Modulation Delay Time : 0.1ms~5.8ms)

※パラメーターの定義は、EFFECT SEND 1 のFLANGE A,Bを参照してください。

08-16 : パンポット

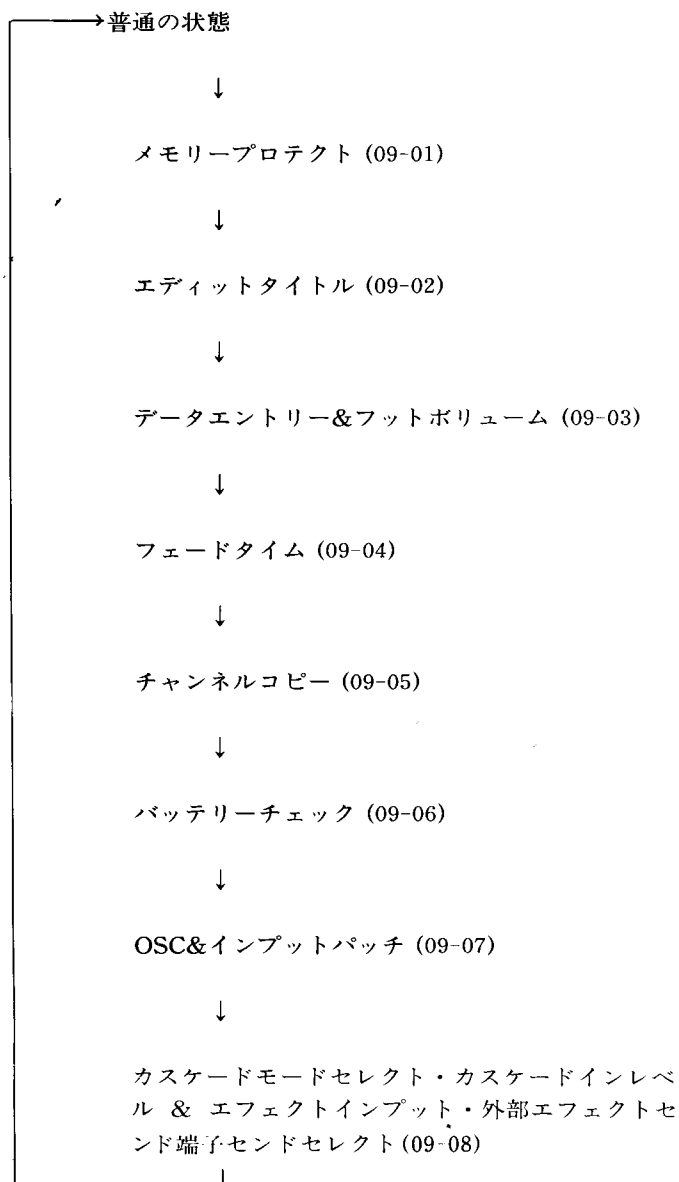
PANPOT

L-chとR-chの間を、音の定位が周期的に移動するプログラムです。

- ①MOD FREQ(Modulation Frequency : 0.1Hz~20.0Hz)
音像を移動させるスピード(周波数)です。
- ②MOD DPTH (Modulation Depth : 0%~100%)
音像が移動する時の音量変化の程度です。
値を50%以下にするとL-R間を音が移動し、51%~75%にするとL-Rの移動幅が広がり、76%以上にすると、左右の移動感だけでなく前後の移動感も感じられるようになり、結果的に音が回転しているような感じになります。

09：ユーティリティモード

このモードの時にチャンネルコピー等のエディット補助機能や、本体全体の設定等ができます。ユーティリティキーを押す毎に、下の順に呼び出されます。



また、ユーティリティモードに入っている途中で、他のキーを押すことによって、ユーティリティモードから抜け出すことができます。

09-01：メモリープロテクト

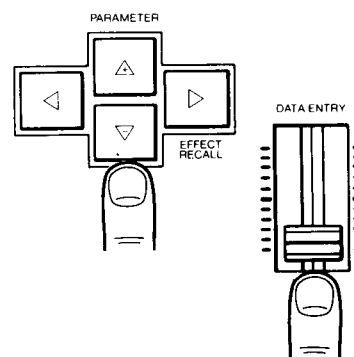
(例)

Memory Protect
on

本体内のデータを誤って消してしまわないように、メモリープロテクトをかけることができます。作成したプログラムをメモリーにストアする場合には、このメモリープロテクトをオフにする必要があります。

1：パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、オン/オフを切り替えます。

パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、



(例)

Memory Protect
off

メモリープロテクトオン/オフを切り替える。

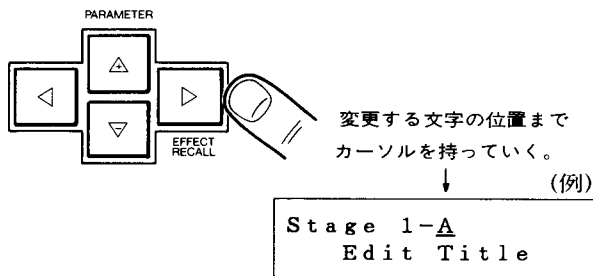
注：MIDIテーブル、及び、セットアップメモリーには、オンの状態でも書き込むことができます。また、パワーオン時には、オンになっています。

09-02 : エディットタイトル

リコール、またはストアしたメモリーのタイトル（名前）を変更することができます。この時、変更したタイトルはメモリーに直接書き込まれますので、ストアの作業は必要ありません。また、同時にエディットバッファ上のタイトルも変更されます。スペース（空欄）も含めて16文字まで入力できます。

1 : パラメーターレフト/ライトキーで、変更したい文字にカーソルを合わせます。

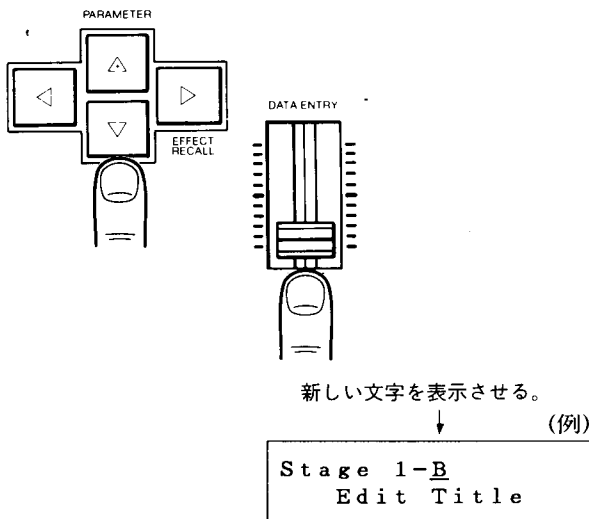
パラメーターレフト/ライトキーを押して、



2 : パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで文字をいれます。また、このときに、以下のキーで文字の編集をすることができます。

- ・メモリーアップキー：カーソルの位置にスペースをインサート（挿入）します。
- ・メモリーダウンキー：カーソルの位置の文字をデリート（削除）します。
- ・ストアキー：スペースをいれます。
- ・リコールキー：カーソルの右側の全文字をカーソルの位置の文字で埋めます。

パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、



☆入力できる文字および表示される順序

数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
スペース											
英字	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	
	U	V	W	X	Y	Z					
スペース											
英字	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	
	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	
	u	v	w	x	y	z					
スペース											
記号	:	;	<	=	>	?	!	#	\$	%	
	&	`	()	*	+	,	-	.	/	
	[¥]	_	{		}	@	^	→	
	←	α	ä	ß	ε	u	σ	o	o	∫	
	-	i	*	φ	±	ñ	ö	o	o	θ	
	∞	Ω	ü	Σ	π	δ	♀	千	万	円	
	÷										
	スペース										
	数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	スペース										
英字	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	
	U	V	W	X	Y	Z					
スペース											
英字	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	
	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	
	u	v	w	x	y	z					
スペース											
記号	□	□	「	」	,	.					
カナ	ラ	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ッ	
	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	
	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	
	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	
	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	
リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	”					

09-03 : データエントリー&フットボリューム

(例)

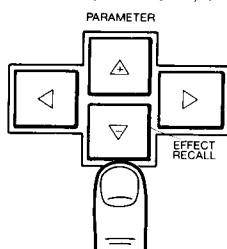
D. Entry & F. Vol
Normal Mode

データエントリースライダーとフットコントロール端子の役割を、逆にすることができます。

1 : パラメーターアップ/ダウンキーで、モードを指定します。

- ・ Normal : 通常の状態です。
- ・ Exchange : 逆になっている状態です。

パラメーターアップ/ダウンキーを押して、



(例)

D. Entry & F. Vol
Exchange Mode

↑
モードを指定する。

注 : このパラメーターは、フットボリュームレベルと共に、ユーザーメモリーにメモリーされます。(ミキシングのパラメーターと考えてください。)

また、この表示のときに、パラメーターライトキーを押すと表示が変わり、システムモードの設定になります。これについては、11 : システムの初期化とモードの変更 (P.41) をご覧ください。

09-04 : フェードタイム

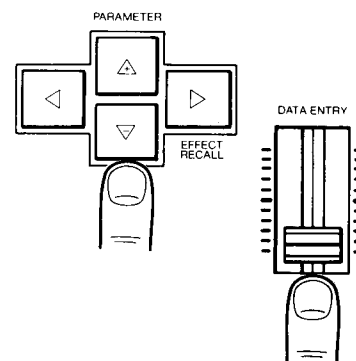
(例)

Fade Time
T= 0.1 Sec

リコールされたときや、MIDIによってレベルデータを変えたときに、古い値から新しい値へ変わるスピード (時間) を設定します。これは、ステレオフェーダー、フェーダー1~8、フットボリューム、エフェクトリターンフェーダーに機能します。

1 : パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、設定値を変えます。

パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、



(例)

Fade Time
T= 4.0 Sec

↑
秒数を指定する。

注 : このパラメーターは、ユーザーメモリーにメモリーされます。(ミキシングのパラメーターと考えてください。) リコールしたメモリーのフェードタイムで、レベルが変化します。

※ フェードタイムは、次の14種類の中から選択できます。

0.1sec, 0.5sec, 1.0sec, 1.5sec, 2.0sec,
2.5sec, 3.0sec, 3.5sec, 4.0sec, 5.0sec,
6.0sec, 7.0sec, 8.0sec, 10.0sec,

09-05 : チャンネルコピー

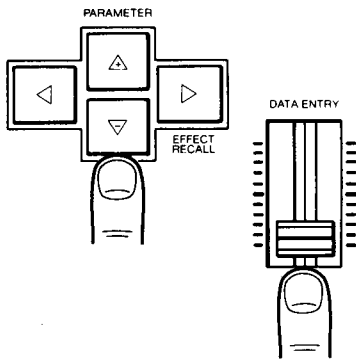
(例)

Channel Copy
h1 --> Ch1

あるチャンネルの全てのミキシングパラメーターの設定を、別のチャンネルにコピーできます。

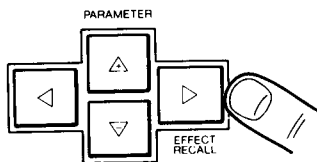
- 1: パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、コピー元のチャンネルを指定します。

パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、



- 2: パラメーターライトキーを押して、コピー先のチャンネル側に、カーソルを移動します。

パラメーターライトキーを押して、



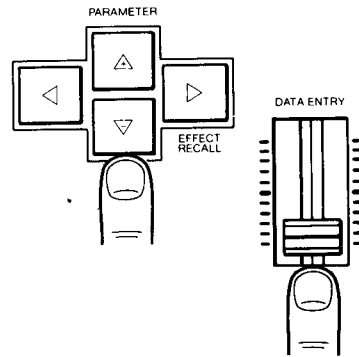
(例)

Channel Copy
Ch2 --> h1

↑
カーソルを移動させる。

- 3: パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、コピー先のチャンネルを指定します。

パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、

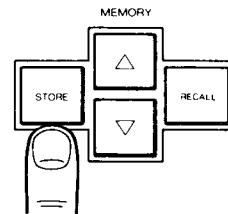


(例)

Channel Copy
Ch2 --> h3

↑
コピー先のチャンネルを表示させる。

- 4: ストアキーを押すと、コピーが実行されます。



注: この機能は、エディット機能の一部であるために、ユーザーメモリーにはメモリーされません。また、ソロモードのときに、この機能を実行すると、強制的にソロモードから抜け出します。

09-06 : バッテリーチェック

本機内にメモリーさせたデータをバックアップしているバックアップバッテリーは、容量が低下して寿命がくると、バックアップしなくなります。バッテリー電圧が2.5V以下になったら、バッテリーの交換時期です。(バッテリー電圧が2.5V以下になるとパワーオン時にも警告表示が出ます。) バッテリー交換は、お買い上げになった楽器店、もしくは最寄りの弊社電音サービスセンターにご相談ください。

注：バックアップバッテリーについて(P2参照)

(例)

```
Battery Check
3.26 Volt
```

09-07 : OSC&インプットパッチ

〈オシレーターの設定〉

各チャンネルから、正弦波、鋸歯状波、ピンクノイズを発生することができます。

また、この状態で、リコールキーを押すことによって、インプットパッチを設定することができます。

(例)

```
sc off ch=1
WF=Sin2 F= 262Hz
```

WF：ウェーブフォーム
(Sin1, Sin2, Saw, Pink)
F：フリクエンス (周波数)

- 1：チャンネルセレクトキーでオシレーターを使用したいチャンネルを選択します。チャンネルの選択は、パラメーターライトキーでカーソルを“ch”側に移動させ、パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで行うこともできます。

チャンネルセレクトキーを押して、



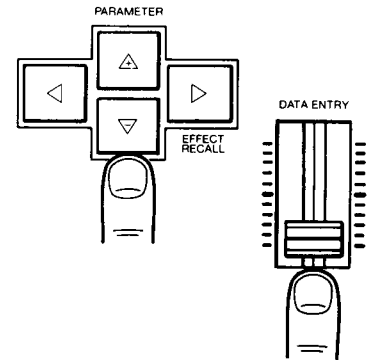
使用したいチャンネルを選ぶ。

(例)

```
sc off ch=6
WF=Sin2 F= 440Hz
```

- 2：パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、オシレーターのオン/オフを指定します。

パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、



オン/オフを指定する。

(例)

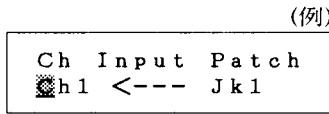
```
sc on ch=6
WF=Sin2 F= 440Hz
```

- 3：パラメーターレフト/ライトキーでカーソルを変更したいパラメーターに移動させ、パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、値を変更します。

- 注：
- ・オシレーターがオンになっているチャンネルは、そのチャンネルの入力は無視されイコライザーの機能が失われます。MIDIからもイコライザーをコントロールすることはできなくなります。
 - ・このパラメーターは、ユーザーメモリーにメモリーされます。(ミキシングのパラメーターと考えてください。)
 - ・ウェーブフォームに鋸歯状波を選択した場合には、イコライザーのオーバーフロープロテクションが外されていますので、オシレーターオフのチャンネルのクリップ波形が通常と異なります。このとき、イコライザー内部でのクリップは、絶対起こさないようにしてください。

〈インプットパッチの設定〉

オシレーターの設定の状態ではリコールキーを押すことによって、インプットパッチを設定できる状態になります。また、ストアキーでオシレーターの設定に戻ることができます。

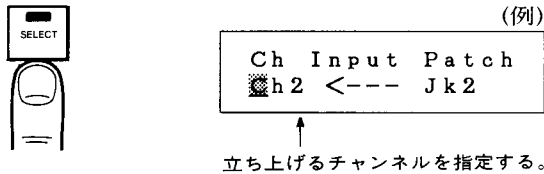


チャンネルインプットをパッチングすることができます。リアパネルのチャンネルインプット端子(ジャック)から、フロントパネルの、どのチャンネルに立ち上げるかを設定します。

1: チャンネルセレクトキーで立ち上げるチャンネルを設定します。

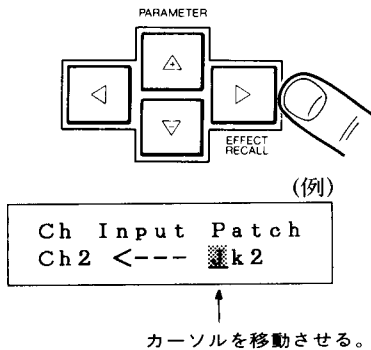
チャンネルの設定は、パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで行うこともできます。

チャンネルセレクトキーを押して、



2: パラメーターライトキーでカーソルを移動させます。

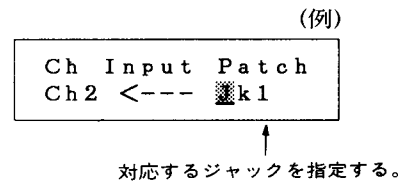
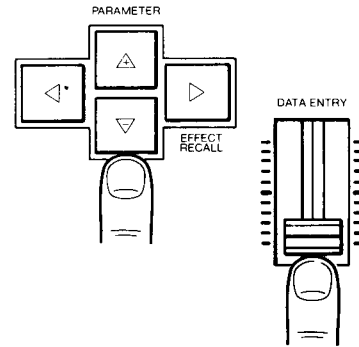
パラメーターライトキーを押して、



3: パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、対応するジャック(チャンネルインプット端子)を設定します。

このとき、ジャック1~4はチャンネル1~4、ジャック5~8はチャンネル5~8に対応させることができます。また、オシレーターがオンになっているチャンネルにパッチングしても、その信号は無視されます。

パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、

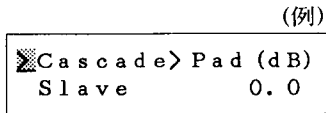


注: このパラメーターは、ユーザーメモリーにメモリーされます。(ミキシングのパラメーターと考えてください。)

09-08 : カスケードモードセレクト・カスケードインレベル & エフェクトインプット・外部エフェクトセンド端子センドセレクト

デジタルカスケードの入力レベルの設定、エフェクト1のインプットセレクト、外部エフェクトセンド端子へのセンド信号のセレクトを設定します。

〈カスケードモードセレクト及びデジタルカスケードインレベル〉

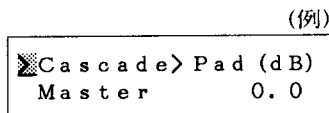
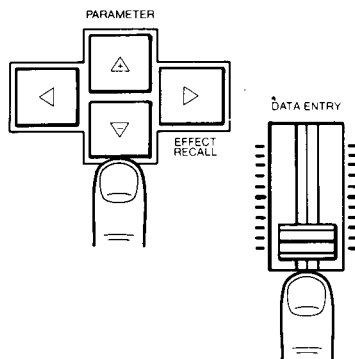


デジタルカスケードの入力レベルを OFF~6.0dBまで1.5dBステップで設定します。

1 : パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、カスケード接続時の接続方法を設定します。

- **Master** : カスケードインから入力された信号は、Pad、ステレオフィューダー、ステレオオン/オフ、フットボリュームを通して、カスケードアウトより出力されます。
- **Slave** : カスケードインから入力された信号は、Pad、フットボリュームのみを通り、カスケードアウトより出力されます。数台のDMP11をカスケード接続した場合に、ステレオフィューダーをグループフェューダーの様を使用することができます。(全てをスレーブにした場合には、フットボリュームがマスターフェューダーとなります。)

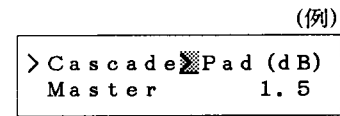
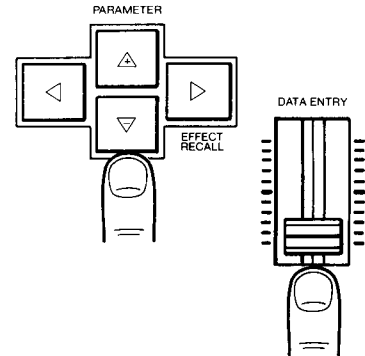
パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、



↑
接続方法を指定する。

2 : パラメーターライトキーで、カーソルを移動し、パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、カスケードの入力レベル (Pad) を設定します。

カーソルを移動してから、パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、



↑
値を指定する。

注 : このパラメーターは、ユーザーメモリーにメモリーされます。(ミキシングのパラメーターと考えてください。)

• カスケード接続は別売のYAMAHAデジタルオーディオケーブルをご使用ください。

- YDC803 (3 m)
- YDC805 (5 m)
- YDC815 (15 m)

〈エフェクト1インプットセレクト〉

(例)

```

Eff1 in>Ext. Snd
Send1   Send2
    
```

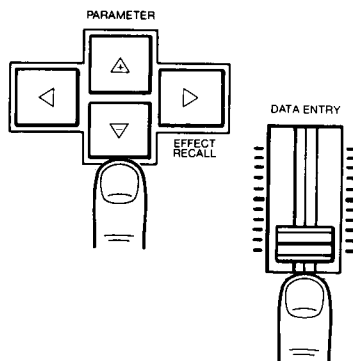
カスケードインレベルの表示の時に、パラメーターライトキーでカーソルを右側に移動させると、エフェクト1インプットセレクトを設定できます。

1: パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、エフェクト1に入力する信号を設定します。

エフェクト1の入力を次の4つの中から選択できます。

- Send1 : 通常モードです。
- Send2 : センド2フェーダーによりSEND1、2フェーダーをリンクします。
- Cas.Lch: デジタル入力をエフェクト処理します。
- Cas.Rch: デジタル入力をエフェクト処理します。

カーソルを移動してから、
パラメーターアップ/ダウンキーまたは
データエントリースライダーで、



(例)

```

Eff1 in>Ext. Snd
Send2   Send2
    
```

↑
エフェクト1に入力する信号を指定する。

注: このパラメーターは、ユーザーメモリーにメモリーされます。(ミキシングのパラメーターと考えてください。)

〈外部エフェクトSEND端子へのSENDセレクト〉

(例)

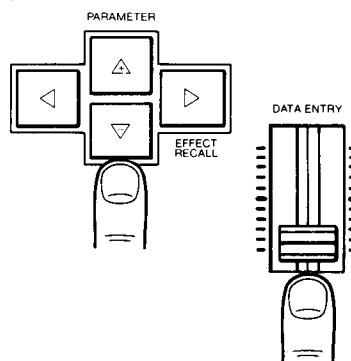
```

Eff1 in>Ext. Snd
Send1   Send2
    
```

リアパネルのエフェクトSEND端子に出力する信号を選択します。

1: パラメーターライトキーで、カーソルを移動し、パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、エフェクトSEND端子に出力する信号を設定します。

カーソルを移動してから、
パラメーターアップ/ダウンキーまたは
データエントリースライダーで、



(例)

```

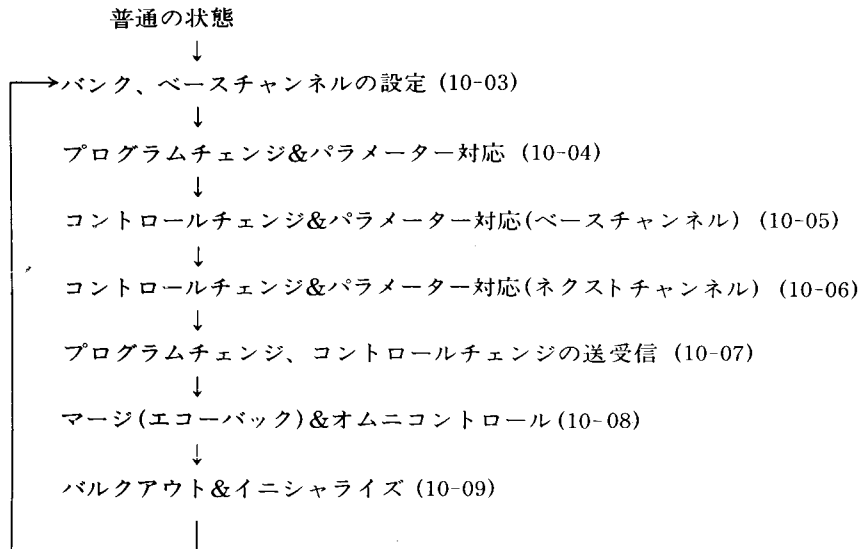
>Eff1 in>Ext. Snd
Send1   Send1
    
```

↑
エフェクトSEND端子に出力する信号を指定する。

注: このパラメーターは、ユーザーメモリーにメモリーされます。(ミキシングのパラメーターと考えてください。)

10 : MIDIモード

このモードの時に、DMP11のMIDIに関するパラメーターのエディット等ができます。
MIDIキーを押す毎に、下の順に呼び出されます。



また、MIDIモードに入っている途中で、他のキーを押すことによって、MIDIモードから抜け出すことができます。

10-01 : MIDIについて

〈MIDI端子について〉

- ・MIDIアウト：本機からのMIDI信号を送信する端子です。外部MIDI機器のMIDIイン端子と接続します。
- ・MIDIイン：外部MIDI機器からのMIDI信号を受信する端子です。外部MIDI機器のMIDIアウト端子と接続します。
- ・MIDIスルー：外部MIDI機器から受信した信号を、そのままこの端子から送信します。外部MIDI機器のMIDIイン端子と接続します。

〈MIDIチャンネル〉

MIDIを扱う上で最小限覚えていただきたいのが、このMIDIチャンネルです。MIDIチャンネルを合わせるという作業を忘れてしまうと、せっかく接続してもMIDIの機能を発揮できません。

MIDIでは、1本のケーブルの中に複数のデータを流すことができます。また、MIDIチャンネルというもので、そのデータの使い分けをしています。

1~16のチャンネルまで設定できます。

送信側が1チャンネルで送信しているのに、受信側が違うチャンネルに設定されていると、その情報は無視されます。また、オムニオンになっていると、全てのチャンネルの情報を受信します。

〈プログラムチェンジ〉

MIDIの中には、様々な情報の種類がありますが、DMP11で受信する情報に「プログラムチェンジ」があります。簡単にいえば、「プログラム(ミキシングプログラム)を指定した番号に切り替える!」という命令です。例えば、デジタルシンセサイザーDX7で音色ナンバーを切り替えた時に、MIDIに対してプログラムチェンジが送信されます。DMP11は、このプログラムチェンジを受信して、ミキシングプログラムを切り替えることができます。

〈コントロールチェンジ〉

MIDIの中には、様々な情報の種類がありますが、DMP11で受信する情報に「コントロールチェンジ」があります。簡単にいえば、「パラメーターを指定した値に変更せよ!」という命令です。

例えば、デジタルシンセサイザーDX7でモジュレーションホイールを動かした時に、MIDIに対してコントロールチェンジ(コントロールナンバー1)が送信されます。DMP11は、このコントロールチェンジを受信して、ミキシングパラメーターを変更することができます。

〈バルクダンプ〉

もう1台の、または複数のDMP11をMIDIで接続して、メモリー内容を転送することができます。

また、ヤマハ・データファイラーMDF1やMDR機能をもったMIDI機器(ヤマハ・デジタルシーケンスレコーダーQX3等)に接続して、メモリー内容を外部に保存することができます。

10-02：ベースチャンネルについて

DMP11のMIDIでは、プログラムチェンジ、コントロールチェンジ（ピッチチェンジアフェクトでは、ノートオン、ピッチベンド）を送受信します。MIDIからコントロールできるパラメーターが多いために、DMP11では、MIDIチャンネルを2チャンネル使用します。それぞれをベースチャンネル、ネクストチャンネルと呼びます。

- ・ベースチャンネル（Bch）：Bch=1~16
- ・ネクストチャンネル（Nch）：Nch=Bch+1
Bch=16の場合には、Nch=1

10-03：バンク、ベースチャンネルの設定

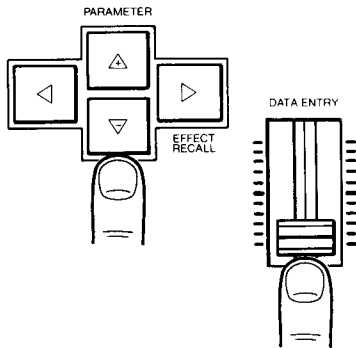
(例)

```
MIDI Set up
Bank:A    ch=1
```

MIDI送受信チャンネルのベースチャンネルを設定します。バンクは、プログラムチェンジ&メモリーナンバーの対応を設定するもので、A、B、C、Dの4バンクあります。それぞれのバンクにMIDIベースチャンネルを設定することができます。

- 1：パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、バンクを設定します。

パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、



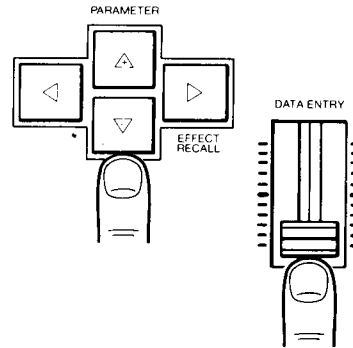
(例)

```
MIDI Set up
Bank:B    ch=1
```

↑
希望するバンク名を表示させる。

- 2：パラメーターライトキーで、カーソルを移動し、パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、そのバンクのベースチャンネルを設定します。

カーソルを移動してから、
パラメーターアップ/ダウンキーまたは
データエントリースライダーで、



(例)

```
MIDI Set up
Bank:B    ch=16
```

↑
ベースチャンネルを指定する。

バンクを変えた時、MIDIアウト端子から、そのバンクのMIDIベースチャンネルで、バンクチェンジ・リクエストのメッセージを送信させることができます。
(P.42 11 04システムモードの変更参照)

10-04 : プログラムチェンジ&メモリーナンバー対応

(例)

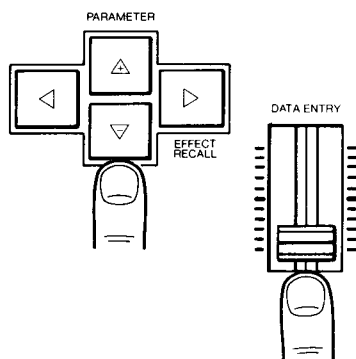
```

Program Change
GM 1 = MEM 1
    
```

各バンクのプログラムチェンジ&メモリー対応表を作成します。(MIDIのプログラムチェンジPGM1~128に本機のミキシングプログラムMEM0~96を対応させることができます。)

1 : パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、MIDIのプログラムチェンジナンバーPGMを設定します。

パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、



(例)

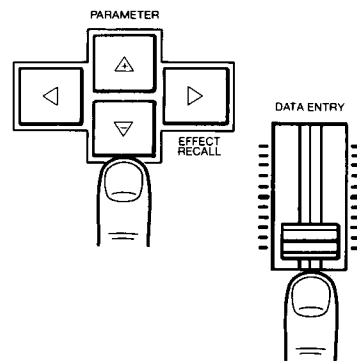
```

Program Change
GM 3 = MEM 3
    
```

↑
設定したいプログラムチェンジナンバーを表示させる。

2 : パラメーターライトキーで、カーソルを移動し、パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、そのPGMに対応させる、ミキシングプログラムMEMを設定します。

カーソルを移動してから、パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、



(例)

```

Program Change
PGM 3 = MEM 30
    
```

↑
対応させるメモリーナンバーを表示させる。

注 : ミキシングプログラムリコール時に、MIDIアウトに送信されるプログラムチェンジは、対応表のプログラムチェンジナンバーが送信されます。(但し、1つのミキシングプログラムMEMに複数のプログラムチェンジナンバーPGMが割り当てられた場合、そのミキシングプログラムをリコールしたときには、一番大きな値のプログラムチェンジナンバーがMIDIアウトに送信されず。)

10-05 : コントロールチェンジ&パラメーター対応 (ベースチャンネル)

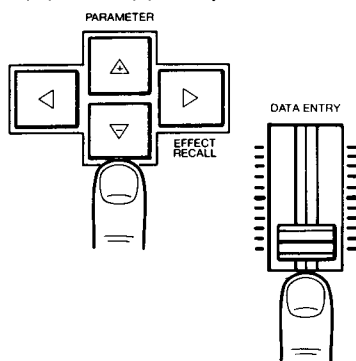
(例)

```
Base 1ch Assign
[ ]NT= 0 FadeTime
```

全バンク共通に、コントロールチェンジアサイン表を作成することができます。(各コントロールチェンジと本機のパラメーターの対応を決めることができます。)

1 : パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、MIDIのコントロールチェンジナンバーCNTを設定します。

パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、



(例)

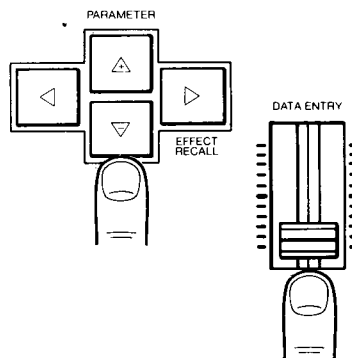
```
Base 1ch Assign
[ ]NT= 4 ST fader
```

↑
設定したいコントロールチェンジナンバーを表示させる。

2 : パラメーターライトキーで、カーソルを移動し、パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、そのCNTに対応させる、パラメーターを設定します。

”*****”はどのパラメーターとも反応しません。これに対応させたコントロールチェンジナンバーは、受信しても無視します。

カーソルを移動してから、パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、



(例)

```
Base 1ch Assign
CNT= 4 [ ]Ton/off
```

↑
対応させるパラメーターを表示させる。

注 : フェーダー操作時、及び、パラメーター変更時に、MIDIアウトに送信されるコントロールチェンジは、対応表のコントロールチェンジナンバーが送信されます。(但し、1つのパラメーターに複数のコントロールチェンジナンバーCNTが割り当てられた場合、そのパラメーターを操作したときには、一番大きな値のコントロールチェンジナンバーがMIDIアウトに送信されます。)

また、CNT=122~127はモードメッセージですが、本機の処理においては、コントロールチェンジと同様の扱いをします。(モードメッセージにも、パラメーターのアサインが可能です。但し、使用しない方が望ましいでしょう。)

10-06 : コントロールチェンジ&パラメーター対応 (ネクストチャンネル)

(例)

Next	2ch	Assign
NT=	0	Dyna L 1

全バンク共通に、コントロールチェンジアサイン表を作成することができます。

設定方法は、10-05 : コントロールチェンジ&パラメーター対応 (ベースチャンネル) と同様です。

10-07 : プログラムチェンジ、コントロールチェンジの送受信

(例)

CNTL	(R)	1	(S)	1
PGMC	(R)	1	(S)	1

CTRL : コントロールチェンジ
 PGMC : プログラムチェンジ
 R : レシーブ (受信)
 S : センド (送信)

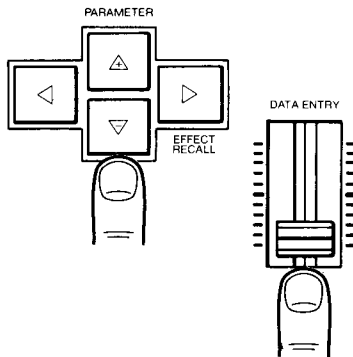
コントロールチェンジ、プログラムチェンジの送受信のオン/オフを設定します。

(この設定は、全バンク共通です。)

1 : パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、コントロールチェンジの受信のオン/オフを設定します。

- ・1 : オン (受信します。)
- ・0 : オフ (受信しません。)

パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、



"1" または "0" を表示させる。

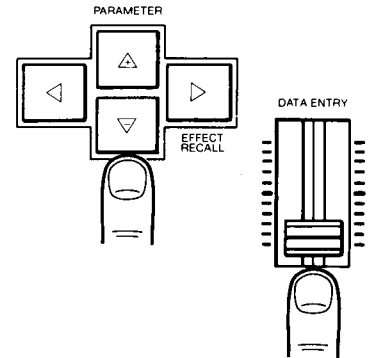
(例)

CNTL	(R)	1	(S)	1
PGMC	(R)	1	(S)	1

2 : パラメーターライトキーで、カーソルを移動し、パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダーで、コントロールチェンジの送信のオン/オフを設定します。

- ・1 : オン (送信します。)
- ・0 : オフ (送信しません。)

カーソルを移動してから、パラメーターアップ/ダウンキーまたはデータエントリースライダーで、



"1" または "0" を表示させる。

(例)

CNTL	(R)	1	(S)	1
PGMC	(R)	1	(S)	1

3 : 同様に、パラメーターライトキーを押して、プログラムチェンジについても設定します。

10-08 : マージ&オムニコントロール

(例)

```
Echo: [X]ff, off, off
Omni: EXC, off, off
```

〈マージ (エコーバック)〉

本機のみMIDIイン端子から受信したMIDI信号を、本機自身のMIDI信号とマージ (ミックス) させて、本機のみMIDIアウト端子から送信することができます。

(この設定は、全バンク共通です。)

1 : パラメーターレフト/ライトキーで、カーソルを移動し、パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダで、各メッセージのオン/オフを設定します。

- ・ CLK : MIDIクロック
(スタート、コンティニュー、ストップ、
ソングセレクト、ソング、ポジション、
ポインター)
- ・ PGM : プログラムチェンジ
- ・ CNT : コントロールチェンジ

〈オムニコントロール〉

本機では、バンク毎に、受信MIDIチャンネルを設定できますが、オムニオンにすることによって、全てのチャンネルを受信することができます。

1 : パラメーターレフト/ライトキーで、カーソルを移動し、パラメーターアップ/ダウンキー、またはデータエントリースライダで、各メッセージのオン/オフを設定します。

- ・ EXC : システムエクスクルーシブ
- ・ PGM : プログラムチェンジ
- ・ CNT : コントロールチェンジ

注 : コントロールチェンジを受信する場合に、ベースチャンネルが偶数に設定されていたら、偶数チャンネルのコントロールチェンジはベースチャンネルのテーブルを参照し、奇数チャンネルはネクストチャンネルのテーブルを参照します。

(ベースチャンネルが奇数に設定されている場合は、その逆になります。)

10-09 : バルクアウト&イニシャライズ

(例)

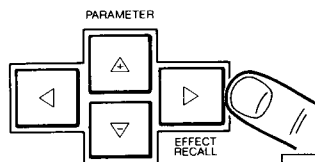
```
BLK Out [X]EM 1-96
PGM CNT SET EFF
```

〈バルクアウト〉

本機内の各データを、本機のみ操作でバルクアウトすることができます。

- 1 : パラメーターレフト/ライトキーで、カーソルを移動し、バルクアウトするデータを指定します。
 - ・ MEM : ミキシングメモリーバルクダンプ (データエントリースライダで、バルクアウトするメモリーを指定できます。)
 - ・ PGM : プログラムチェンジ&メモリーナンバー対応表
 - ・ CNT : コントロールチェンジ&パラメーター対応表
 - ・ SET : セットアップパラメーター
 - ・ EFF : エフェクトプリセットデータ

パラメーターレフト/ライトキーで、



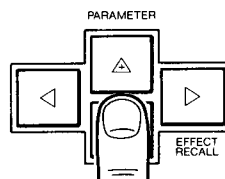
(例)

```
BLK Out MEM 1-96
PGM [X]CNT SET EFF
```

↑
バルクアウトするデータを指定する。

- 2 : パラメーターアップキーを押すと、"Are you sure?" と表示されます。もう1度パラメーターアップキーを押すと、実行されます。また、このときに他のキーを押すと、キャンセル (取り消し) されます。

パラメーターアップキーを、



(例)

```
Control Dump
Are You Sure ?
```

1度押すとこの表示になり、
もう1度押すとバルクアウトが
実行される。

注 : メモリーのバルクアウト中に、パラメーターレフト/ライトキーで、バルクアウトを中断させることができます。

"2" の操作の時にパラメーターアップキーではなく、パラメーターダウンキーを押すと、MIDIアウト端子から、現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルで、指定したデータのバルクダンプ・リクエストのメッセージが送信されます。

〈イニシャライズ〉

本機内の各データをイニシャライズ（初期化）します。

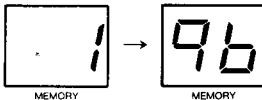




- 1：パラメーターレフト/ライトキーで、カーソルを移動し、イニシャライズするデータを指定します。
 - ・MEM：現在LCDに表示されているメモリーナンバーにメモリーナンバー0のプログラムがセットされます。（例の表示の場合には、メモリーナンバー1～96にセットされます。）
 - ・PGM：現在選択されているバンクのプログラムチェンジ&メモリーナンバー対応表をプリセット値に引き戻します。
 - ・CNT：コントロールチェンジ&パラメーター対応表をプリセット値に引き戻します。
 - ・SET：セットアップパラメーターをプリセット値に引き戻します。
 - ・EFF：エフェクトプリセットデータを工場出荷時の状態に引き戻します。
- 2：リコールキーを押すと、“Are you sure ?”と表示されます。もう1度リコールキーを押すと、実行されます。また、このときに他のキーを押すと、キャンセル（取り消し）されます。

注：イニシャライズを実行しますと、それまで記憶されていた各データは失われてしまいますので注意してください。

10-10：バルクダンプの受信

全てのバルクダンプは本機がどのモードにあっても受信することができます。

メモリーバルクダンプの受信中は、現在受信しているバルクのメモリーナンバーをメモリーナンバーディスプレイに表示します。また、メモリー以外のバルクダンプを受信した場合には、次のような表示がメモリーナンバーディスプレイに表示されます。

- ・メモリー : 
- ・プログラムチェンジ&メモリーナンバー対応表 : 
- ・コントロールチェンジ&パラメーター対応表 : 
- ・MIDIセットアップ : 
- ・エフェクトプリセットデータ : 

10-11：受信エラーメッセージ

MIDI受信の際に異常が発生した場合、メモリーナンバーディスプレイに次のようなエラーメッセージが表示されます。



：ACIAのオーバーランまたはフレーミングエラー、送信側の異常、MIDIケーブルの不良等。



：受信バッファフル、一度に送るデータ量が多すぎます。



：MIDI RESETメッセージ (0FFH) を受信したので受信バッファをクリアした。



：メモリー・バルク・データを受信したが、メモリープロテクトがオンになっているので無視した。



：バルク・データを受信したが、チェックサムが違うので無視した。



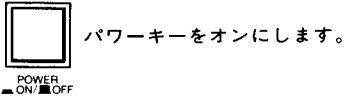
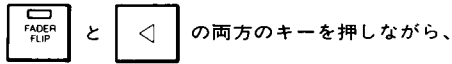
：メモリーナンバー0への書き込みはできません。

11：システムの初期化とモードの変更

11-01：RAMオールクリア

ユーザーメモリーを含む全てのデータが消去され、MIDI標準テーブルとエフェクトプリセットデータがセットされます。

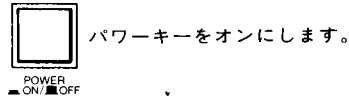
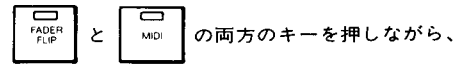
- 1：フェーダーフリップキーとパラメーターレフトキーを押したまま、パワーオンします。



11-03：MIDI標準テーブルセット

プログラムチェンジ&メモリー対応表、及び、コントロールチェンジ&パラメーター対応表をプリセット値に引き戻します。(セットアップデータには、影響しません。)

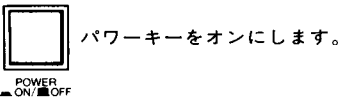
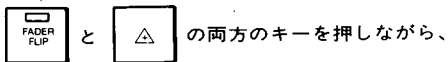
- 1：フェーダーフリップキーとMIDIキーを押したまま、パワーオンします。



11-02：RAMバンク0クリア

ユーザーメモリーのデータは消去せずに、MIDIテーブル、セットアップ、エフェクトプリセットデータ、システムモードスイッチがイニシャライズ(初期化)されます。(全てのアサインが外され、セットアップデータは全て0になります。また、エフェクトプリセットデータは、工場出荷時にセットされます。)

- 1：フェーダーフリップキーとパラメーターアップキーを押したまま、パワーオンします。



(RAMバンクは0~3まで有り、バンク0にセットアップデータ&MIDIテーブル、1~3にユーザーメモリー(1~96)が存在します。)

データのイニシャライズ(P40参照)を実行した時と同様に、プリセット値に初期化されます。

11-04：システムモードの変更

〈システムモードとは〉

DMP11では、「システムモード」と呼ばれる操作上の細かい設定を8個（8ビット）のメモリスイッチで指定できるようになっています。

〈システムモードの変更〉

1：ユーティリティモードのデータエントリー&フットボリュームの表示のときに、パラメーターライトキーを、押すと、システムモードの変更の表示になります。

2：パラメーターレフト/ライトキーでカーソルを移動させ、パラメーターアップ/ダウンキーで、ビットのオン/オフを設定します。

ビットは右から0、1、2・・・7となっており、一番左のビットは常時0で変更できません。

(例)

System Mode SW
MSB 00000000 LSB

3：パラメーターレフトキーを押し続けると、データエントリー&フットボリュームの表示に戻ります。

注：メモリスイッチの下位4ビットは、次のキーを押しながらパワーオンすることによって、ビット反転することができます。

- ・ビット0：パラメーターライトキー&リコールキー
 - ・ビット1：パラメーターダウンキー&メモリーナンバーダウンキー
 - ・ビット2：パラメーターアップキー&メモリーナンバーアップキー
 - ・ビット3：パラメーターレフトキー&ストアキー
- また、セットアップバルクダンプを受信することによっても、書き換えることができます。(RAMオールクリア及びRAMバンク0クリアを行うと、全ビットがリセットされます。)

ビット0 [fader triggered Fader Status]

- (0)：フェーダーステータスキー、またはフェーダーフリップキーを押したときに、フェーダーステータスのモードに入ります。
- (1)：フェーダーが素早く動かされたときに、自動的にフェーダーステータスのモードに入ります。(但し、ユーティリティモードの場合には、無視されます。)

ビット1 [MIDI triggered Fader Status]

- (0)：フェーダーステータスキー、またはフェーダーフリップキーを押したときに、フェーダーステータスの表示になります。
- (1)：MIDIにより、現在選択されているフェーダーを動かした場合に、自動的にエフェクトフェーダーステータスの表示になります。(但し、ユーティリティモードの場合には、無視されます。)

ビット2 [fader triggered Channel Select]

- (0)：セレクトキーにより、チャンネルを選択します。
- (1)：フェーダーが素早く動かされたときに、そのフェーダーが有効な状態であれば、そのチャンネルを選択します。(つまりそのチャンネルのセレクトキーを自動的に押します。但し、ユーティリティモードの場合には無視されます。)

ビット3 [Minimum Fader Enable]

- (0)：フェーダーを絞ったときにも、フェーダーを有効にします。
- (1)：フェーダーの位置と、メモリーが一致した場合のみ、フェーダーが有効になります。

ビット4 [Memory Store & Bank Change Request,PGM Table Request]

- (0)：プログラムチェンジテーブルのダンプリクエストを現在選択されているバンクについて行います。バンクチェンジを行っても、バンクチェンジリクエストは送出されません。メモリーストアを行っても、メモリーストアリクエストが送出されません。
- (1)：プログラムチェンジテーブルのダンプリクエストを全バンクについて行います。バンクチェンジを行うと、バンクチェンジリクエストが送出されます。メモリーストアを行うと、メモリーストアリクエストが送出されます。

ビット5 [Active Sensing Transmit]

- (0)：アクティブセンシングを送出します。
 - (1)：アクティブセンシングを送出しません。
- 注：アクティブセンシングの受信は、常に行います。

ビット6 [Fade Time]

- (0)：フェードタイムがメモリーリコールされたときに、MIDIによってレベルデータを変えられた場合、もしくは、パネル上のフェーダーを操作した場合に、ステレオフェーダー、フットボリューム、インプットフェーダー、エフェクトリターンフェーダーに適用されます。
- (1)：ステレオフェーダー、インプットフェーダーのパネル上のフェーダー操作の場合に、フェードタイムを最小(0.1Sec)にします。フットボリューム、エフェクトリターンフェーダーについては、パネル上のフェーダー操作の場合もフェードタイムが有効になります。(フェードタイムを変更した後で、フェーダーを操作すると、指定した時間で、指定したレベルへ収束します。レベルが、過去に指定したフェードタイムで変わっているときに、フェードタイムを変更しても、そのレベル収束時間は変わりません。新たにフェーダーを操作すると、新しいフェードタイムが適用されます。)

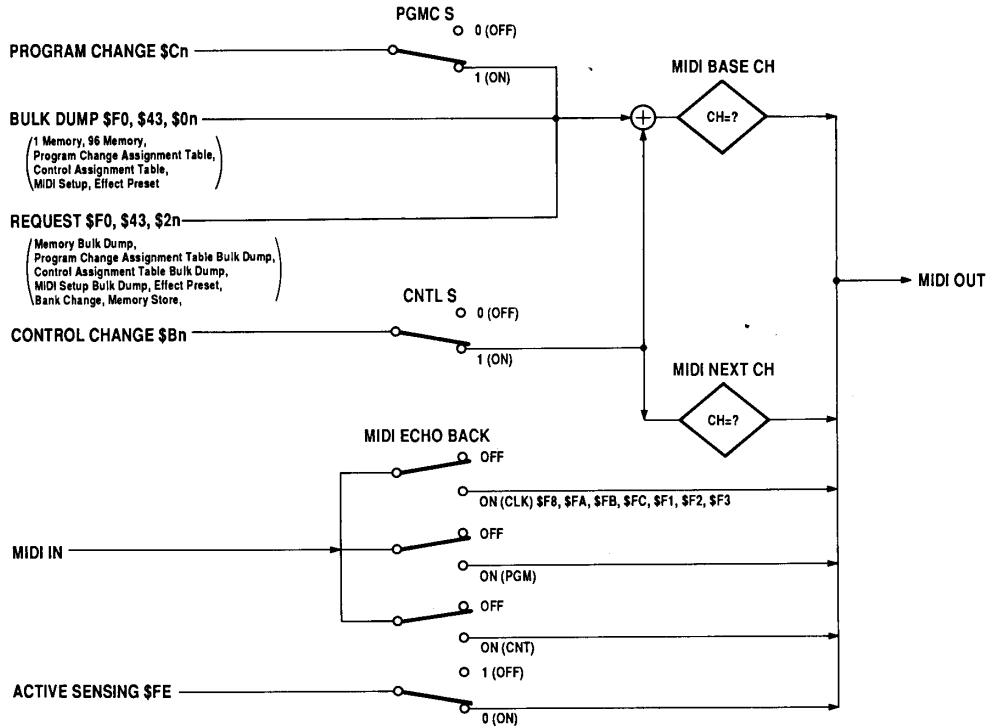
ビット7 [MSB]

- (0)：常時 (0) になっています。

12 : 資料

12-01 : MIDIデータフォーマット

1. 送信条件



2. 送信データ

2-1 チャンネルインフォメーション

1) チャンネルボイスメッセージ

①コントロールチェンジ

コントロールチェンジの送信 (S) が“1” (オン) の時、現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルおよびネクストチャンネル (ベースチャンネル+1) で送信可能です。

メッセージは、各パラメーター等を変更した時に送信します。そのパラメーターに対応させたコントロールナンバーを2ndバイトで、設定値を3rdバイトで送ります。

ステータス	1011nnnn (BnH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
コントロールNo.	0ccccccc	c=0~127
設定値	0ddddd	d=0 (設定値最小) ~127 (設定値最大)

②プログラムチェンジ

プログラムチェンジの送信 (S) が“1” (オン) の時、各バンクのMIDIベースチャンネルでのみ送信可能です。

メッセージは、ミキシングプログラムをメモリーリコールした時、そのメモリーナンバーに対応させたプログラムナンバーを2ndバイトで送ります。

ステータス	1100nnnn (CnH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
プログラムNo.	0ppppppp	p=0~127

2-2 システムインフォメーション

1) システムイクスクルーシブメッセージ

①1メモリー・ミキシングプログラム・バルクデータ

現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ送信可能です。

データは、1メモリー・ミキシングプログラム・バルクdump・リクエストを受信した時に送信し、送信するデータは、指定されたメモリーナンバーのプログラムです。

ステータス	11110000 (F0H)	
ID No.	01000011 (43H)	
サブステータス	0000nnnn (0nH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
フォーマットNo.	01111110 (7EH)	
バイトカウント	00000100 (04H)	
バイトカウント	01011010 (0AH)	
	01001100 (4CH)	“L”
	01001101 (4DH)	“M”
	00100000 (20H)	スペース
	00100000 (20H)	スペース
	00111000 (38H)	“8”
	00110011 (33H)	“3”
	00111000 (38H)	“8”
	00110111 (37H)	“7”
データネーム	01001101 (4DH)	“M” or “A”
メモリーNo.	0nnnnnnnn	m=0 (イニシャルデータ) ~96, 127 (エディットバッファー)
データ	0ddddd	512バイト
	0ddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111 (F7H)	

②96メモリー・ミキシングプログラム・バルクデータ

現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ送信可能です。

データは、本機のバルクアウト機能を使いこの内容を選んだ時と、ミキシングプログラム・バルクダンプ・リクエストを受信した時に送信し、送信するデータは、選択した範囲のメモリーナンバーのプログラムです。

〈選択できる範囲〉

1～96 17～24 65～72
 1～32 25～32 73～80
 33～64 33～40 81～88
 65～96 41～48 89～96
 1～8 49～56
 9～16 57～64

ステータス	11110000 (F0H)	
ID No.	01000011 (43H)	
サブステータス	0000nnnn (0nH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
フォーマットNo.	01111110 (7EH)	
バイトカウント	00000100 (04H)	} メモリー-1 (522バイト)
チェックサム	0eeeeeee	
バイトカウント	00000100 (04H)	} メモリー-2 (522バイト)
チェックサム	0eeeeeee	
.....		
バイトカウント	00000100 (04H)	} メモリー-96 (522バイト)
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111 (F7H)	

※バイトカウント (04H) からチェックサムまでは、前項の“1メモリー・ミキシングプログラム・バルクデータ”を参照してください。

③1バンク・プログラムチェンジ表・バルクデータ

現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ送信可能です。

データは、プログラムチェンジ表・バルクダンプ・リクエストを受信した時に送信し、送信するデータは、プログラムチェンジ表 (プログラムナンバーとメモリーナンバーの対応表) です。

ステータス	11110000 (F0H)	
ID No.	01000011 (43H)	
サブステータス	0000nnnn (0nH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
フォーマットNo.	01111110 (7EH)	
バイトカウント	00000001 (01H)	
バイトカウント	00001010 (0AH)	
	01001100 (4CH)	"L"
	01001101 (4DH)	"M"
	00100000 (20H)	スペース
	00100000 (20H)	スペース
	00111000 (38H)	"8"
	00110011 (33H)	"3"
	00111000 (38H)	"8"
	00110111 (37H)	"7"
データネーム	01010100 (54H)	"P"
バンクNo.	0bbbbbbb	b : "A", "B", "C", "D" (ASCII)
データ	0ddddddd	} 128バイト
	0ddddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111 (F7H)	

④4バンク・プログラムチェンジ表・バルクデータ

現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ送信可能です。

データは、本機のバルクアウト機能を使いこの内容を選んだ時と、プログラムチェンジ表・バルクダンプ・リクエストを受信した時に送信し、送信するデータは、4バンク全てのプログラムチェンジ表です。

ステータス	11110000 (F0H)	
ID No.	01000011 (43H)	
サブステータス	0000nnnn (0nH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
フォーマットNo.	01111110 (7EH)	
バイトカウント	00000001 (01H)	} バンクA
チェックサム	0eeeeeee	
バイトカウント	00000001 (01H)	} バンクB
チェックサム	0eeeeeee	
バイトカウント	00000001 (01H)	} バンクC
チェックサム	0eeeeeee	
バイトカウント	00000001 (01H)	} バンクD
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111 (F7H)	

※バイトカウント (01H) からチェックサムまでは、前項の“1バンク・プログラムチェンジ表・バルクデータ”を参照してください。

⑤コントロールチェンジアサイン表・バルクデータ

現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ送信可能です。

本機のバルクアウト機能を使いこの内容を選んだ時は、ベースチャンネルとネクストチャンネル両方のデータを送信し、コントロールチェンジアサイン表・バルクダンプ・リクエストを受信した時は、指定されたチャンネルのデータを送信します。送信するデータは、コントロールチェンジアサイン表 (コントロールチェンジンナンバーとパラメーターの対応表) です。

ステータス	11110000 (F0H)	
ID No.	01000011 (43H)	
サブステータス	0000nnnn (0nH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
フォーマットNo.	01111110 (7EH)	
バイトカウント	00000010 (02H)	
バイトカウント	00001010 (0AH)	
	01001100 (4CH)	"L"
	01001101 (4DH)	"M"
	00100000 (20H)	スペース
	00100000 (20H)	スペース
	00111000 (38H)	"8"
	00110011 (33H)	"3"
	00111000 (38H)	"8"
	00110111 (37H)	"7"
データネーム	01000010 (42H)	"B" *
	00100000 (20H)	スペース
データ	0ddddddd	} 256バイト
	0ddddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111 (F7H)	

*ネクストチャンネルの場合、データネームが次のようになります。

01001110 (4EH) "N"

⑥MIDI・セットアップ・バルクデータ

現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ送信可能です。

データは、本機のバルクアウト機能を使いこの内容を選んだ時と、MIDI・セットアップ・バルクダンプ・リクエストを受信した時に送信し、送信するデータは、メモリープロテクトの設定、コントロールチェンジ・プログラムチェンジの送受信のオン/オフの設定、システムモードの設定、エコーオン/オフの設定、オムニオン/オフの設定、全バンクのMIDIチャンネルナンバー等です。

ステータス	11110000 (F0H)	
ID No.	01000011 (43H)	
サブステータス	0000nnnn (0nH)	n=0 (チャンネルナンバー-1) ~15 (チャンネルナンバー-16)
フォーマットNo.	01111100 (7CH)	
バイトカウント	00000000 (00H)	
バイトカウント	00010110 (16H)	
	01001100 (4CH)	"L"
	01001101 (4DH)	"M"
	00100000 (20H)	スペース
	00100000 (20H)	スペース
	00111000 (38H)	"8"
	00110011 (33H)	"3"
	00111000 (38H)	"8"
	00110111 (37H)	"7"
データネーム	01010011 (53H)	"S"
	00100000 (20H)	スペース
データ	0ddddddd	12バイト
	0ddddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111 (F7H)	

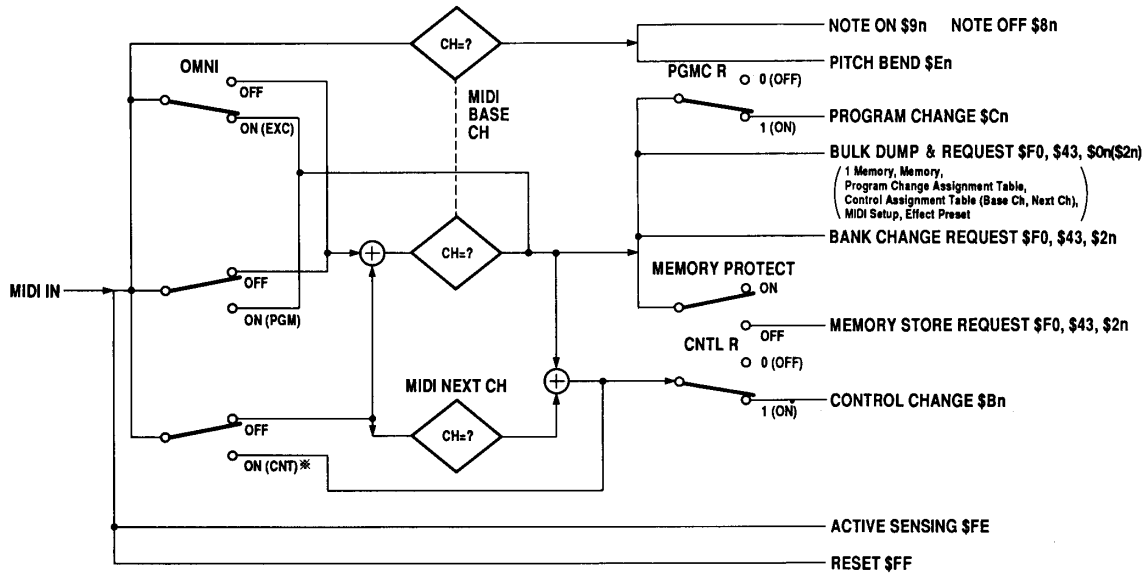
⑦エフェクト・プリセット・バルクデータ

現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ送信可能です。

データは、本機のバルクアウト機能を使いこの内容を選んだ時と、エフェクト・プリセットデータ・バルクダンプ・リクエストを受信した時に送信し、送信するデータは、25種類 (SEND 1+SEND 2) 全てのエフェクトプログラムのパラメーター初期設定値です。

ステータス	11110000 (F0H)	
ID No.	01000011 (43H)	
サブステータス	0000nnnn (0nH)	n=0 (チャンネルナンバー-1) ~15 (チャンネルナンバー-16)
フォーマットNo.	01111110 (7EH)	
バイトカウント	00000011 (03H)	
バイトカウント	00011010 (1AH)	
	01001100 (4CH)	"L"
	01001101 (4DH)	"M"
	00100000 (20H)	スペース
	00100000 (20H)	スペース
	00111000 (38H)	"8"
	00110011 (33H)	"3"
	00111000 (38H)	"8"
	00110111 (37H)	"7"
データネーム	01000101 (45H)	"E"
	00100000 (20H)	スペース
データ	0ddddddd	400バイト
	0ddddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111 (F7H)	

3. 受信条件



※コントロールチェンジの受信をオムニオンに設定した場合、ベースチャンネルが奇数に設定されていると、奇数チャンネルのコントロールチェンジはベースチャンネルのコントロールチェンジアサイン表に対応し、偶数チャンネルのコントロールチェンジはネクストチャンネルのコントロールチェンジアサイン表に対応します。ベースチャンネルが偶数に設定されている場合は、この逆になります。

4. 受信データ

4-1 チャンネルインフォメーション

1) チャンネルボイスメッセージ

① ノートオン

SEND1のエフェクトプログラムである“PITCH CHANGE A”が選択されている時に限り、現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ受信可能です。Base Key (KEY)パラメーターがオフの時は受信することはできません。

受信すると、そのノートNo.でピッチを、ベロシティでアウトプット・レベルをコントロールします。

ステータス	1001nnnn (9nH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
ノートNo.	0kkkkkkk	k=0 (C-2) ~127 (G8)
ベロシティ	0vvvvvvv	v=0~127

② ノートオフ

現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ受信可能です。

このメッセージは、本機にとっては意味を持ちませんが、ノートオン・メッセージの終了を判断する上で必要なメッセージです。

ステータス	0101nnnn (8nH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
ノートNo.	0kkkkkkk	k=0 (C-2) ~127 (G8)
ベロシティ	0vvvvvvv	v=0~127

③ コントロールチェンジ

コントロールチェンジの受信 (R) が“1” (オン) の時、現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルおよびネクストチャンネル (ベースチャンネル+1) で受信可能です。

受信すると、コントロールチェンジアサイン表にもとづき、任意のパラメーターが対応します。

ステータス	1011nnnn (8nH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
コントロールNo.	0ccccccc	c=0~127
コントロール値	0vvvvvvv	v=0~127

④ プログラムチェンジ

プログラムチェンジの受信 (R) が“1” (オン) の時、現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ受信可能です。

受信すると、現在パネル上にあるバンクのプログラムチェンジ表にもとづき、任意のプログラムが呼び出されます。

ステータス	1100nnnn (CnH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
プログラムNo.	0ppppppp	p=0~127

⑤ ピッチベンド

SEND 1のエフェクトプログラムである“PITCH CHANGE A”が選択されている時に限り、現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ受信可能です。

受信すると、FINEパラメーターが指定された値に変わります。

ステータス	1110nnnn (EnH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
値 (LSB)	0bbbbbbb	b=0 (FINE -64) ~127 (FINE +63)
値 (MSB)	0bbbbbbb	

4-2 システムインフォメーション

1) システムイクスクルーシブメッセージ

①メモリー・ミキシングプログラム・バルクダンプ・リクエスト

現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ受信可能です。

メッセージを受信すると、指定されたメモリーナンバーのミキシングプログラムをバルクアウトします。

ステータス	11110000 (F0H)	
ID No.	01000011 (43H)	
サブステータス	0010nnnn (2nH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
フォーマットNo.	01111110 (7EH)	
	01001100 (4CH)	"L"
	01001101 (4DH)	"M"
	00100000 (20H)	スペース
	00100000 (20H)	スペース
	00111000 (38H)	"8"
	00110011 (33H)	"3"
	00111000 (38H)	"8"
	00110111 (37H)	"7"
データネーム	01001101 (4DH)	"M"
メモリーNo.	0mmmmmmmm	m=0 (イニシャルデータ) ~96, 127 (エディットバッファ)
EOX	11110111 (F7H)	

②ミキシングプログラム・バルクダンプ・リクエスト

現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ受信可能です。

メッセージを受信すると、選択した範囲のメモリーナンバーのミキシングプログラムをバルクアウトします。

ステータス	11110000 (F0H)	
ID No.	01000011 (43H)	
サブステータス	0010nnnn (2nH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
フォーマットNo.	01111110 (7EH)	
	01001100 (4CH)	"L"
	01001101 (4DH)	"M"
	00100000 (20H)	スペース
	00100000 (20H)	スペース
	00111000 (38H)	"8"
	00110011 (33H)	"3"
	00111000 (38H)	"8"
	00110111 (37H)	"7"
データネーム	01000001 (41H)	"A"
バルクタイプ	0000mmmm	m=0~15*
EOX	11110111 (F7H)	

*m=0	1~96	8	33~40
1	1~32	9	41~48
2	33~64	10	49~56
3	65~96	11	57~64
4	1~8	12	65~72
5	9~16	13	73~80
6	17~24	14	81~88
7	25~32	15	89~96

③プログラムチェンジ表・バルクダンプ・リクエスト

現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ受信可能です。

メッセージを受信すると、指定されたバンクのプログラムチェンジ表 (プログラムナンバーとメモリーナンバーの対応表) をバルクアウトします。

ステータス	11110000 (F0H)	
ID No.	01000011 (43H)	
サブステータス	0010nnnn (2nH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
フォーマットNo.	01111110 (7EH)	
	01001100 (4CH)	"L"
	01001101 (4DH)	"M"
	00100000 (20H)	スペース
	00100000 (20H)	スペース
	00111000 (38H)	"8"
	00110011 (33H)	"3"
	00111000 (38H)	"8"
	00110111 (37H)	"7"
データネーム	01010100 (54H)	"P"
バンクNo.	0bbbbbbb	b: "A", "B", "C", "D", "*" (ASCII)
EOX	11110111 (F7H)	

"*": 全バンク

④コントロールチェンジアサイン表・バルクダンプ・リクエスト

現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ受信可能です。

メッセージを受信すると、指定されたチャンネルのコントロールチェンジアサイン表 (コントロールナンバーとパラメーターの対応表) をバルクアウトします。

ステータス	11110000 (F0H)	
ID No.	01000011 (43H)	
サブステータス	0010nnnn (2nH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
フォーマットNo.	01111110 (7EH)	
	01001100 (4CH)	"L"
	01001101 (4DH)	"M"
	00100000 (20H)	スペース
	00100000 (20H)	スペース
	00111000 (38H)	"8"
	00110011 (33H)	"3"
	00111000 (38H)	"8"
	00110111 (37H)	"7"
データネーム	01000010 (42H)	"B" *
	00100000 (20H)	スペース
EOX	11110111 (F7H)	

*ネクストチャンネルの場合、データネームが次のようになります。

01001110 (4EH) "N"

⑤MIDI・セットアップ・バルクダンプ・リクエスト

現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ受信可能です。

メッセージを受信すると、メモリープロテクトの設定、プログラムチェンジ・コントロールチェンジのオン/オフの設定、システムモードの設定、エコーオン/オフの設定、オムニオン/オフの設定、全バンクのMIDIチャンネルナンバー等をバルクアウトします。

ステータス	11110000 (F0H)	
ID No.	01000011 (43H)	
サブステータス	0010nnnn (2nH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
フォーマットNo.	01111100 (7CH)	
	01001100 (4CH)	"L"
	01001101 (4DH)	"M"
	00100000 (20H)	スペース
	00100000 (20H)	スペース
	00111000 (38H)	"8"
	00110011 (33H)	"3"
	00111000 (38H)	"8"
	00110111 (37H)	"7"
	00100111 (37H)	"5"
	00100000 (20H)	スペース
データネーム	01010011 (53H)	
	00100000 (20H)	スペース
EOX	11110111 (F7H)	

⑥バンクチェンジ・リクエスト

現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ受信可能です。

メッセージを受信すると、任意のバンクに切り替わります。

ステータス	11110000 (F0H)	
ID No.	01000011 (43H)	
サブステータス	0010nnnn (2nH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
フォーマットNo.	01111110 (7EH)	
	01001100 (4CH)	"L"
	01001101 (4DH)	"M"
	00100000 (20H)	スペース
	00100000 (20H)	スペース
	00111000 (38H)	"8"
	00110011 (33H)	"3"
	00111000 (38H)	"8"
	00110111 (37H)	"7"
	00101011 (37H)	"U"
データネーム	01010101 (55H)	
バンクNo.	0bbbbbbb	b: "A", "B", "C", "D" (ASCII)
EOX	11110111 (F7H)	

⑦メモリーストア・リクエスト

現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ受信可能です。

メッセージを受信すると、指定されたメモリーナンバーへ、エディットバッファ上のデータがストアされます。ただし、メモリープロテクトの設定がオフになっていなければ受信しません。

ステータス	11110000 (F0H)	
ID No.	01000011 (43H)	
サブステータス	0010nnnn (2nH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
フォーマットNo.	01111110 (7EH)	
	01001100 (4CH)	"L"
	01001101 (4DH)	"M"
	00100000 (20H)	スペース
	00100000 (20H)	スペース
	00111000 (38H)	"8"
	00110011 (33H)	"3"
	00111000 (38H)	"8"
	00110111 (37H)	"7"
	01010111 (57H)	"W"
データネーム	01010111 (57H)	
メモリーNo.	0mmmmmmmm	m=1~96
EOX	11110111 (F7H)	

⑧エフェクト・プリセットデータ・バルクダンプ・リクエスト

現在パネル上にあるバンクのMIDIベースチャンネルでのみ受信可能です。

メッセージを受信すると、25種類 (SEND 1+SEND 2) 全てのエフェクトプログラムのパラメーター初期設定値をバルクアウトします。

ステータス	11110000 (F0H)	
ID No.	01000011 (43H)	
サブステータス	0010nnnn (2nH)	n=0 (チャンネルナンバー1) ~15 (チャンネルナンバー16)
フォーマットNo.	01111100 (7CH)	
	01001100 (4CH)	"L"
	01001101 (4DH)	"M"
	00100000 (20H)	スペース
	00100000 (20H)	スペース
	00111000 (38H)	"8"
	00110011 (33H)	"3"
	00111000 (38H)	"8"
	00110111 (37H)	"7"
	01000101 (45H)	"E"
	00100000 (20H)	スペース
データネーム	01000101 (45H)	
	00100000 (20H)	スペース
EOX	11110111 (F7H)	

Function ...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default	: 1 - 16	: 1 - 16	: memorized
Channel Changed	: 1 - 16	: 1 - 16	:
Mode Default	: x	: OMNIoff/OMNion	: memorized
Mode Messages	: x	: x	:
Mode Altered	: *****	: x	:
Note Number : True voice	: x *****	: 0 - 127 x	: *1
Velocity Note ON	: x	: 0 v=1-127	:
Velocity Note OFF	: x	: x	:
After Key's	: x	: x	:
Touch Ch's	: x	: x	:
Pitch Bender	: x	: 0 64 cent	: *2 7bit reso
0 - 121	: 0	: 0	: *3
122 - 127	: 0	: 0	: *3
Control	:	:	:
Change	:	:	:
Prog	: 0 0 - 127	: 0 0 - 127	: *4
Change : True #	: *****	: 0 - 96	:
System Exclusive	: 0	: 0	: Bulk dump
System : Song Pos	: x	: 0	: *5
: Song Sel	: x	: 0	:
Common : Tune	: x	: x	:
System : Clock	: x	: 0	: *5
Real Time : Commands	: x	: 0	:
Aux : Local ON/OFF	: x	: x	:
: All Notes OFF	: x	: x	:
Mes- : Active Sense	: 0	: 0	:
sages:Reset	: x	: 0	:

: Notes: *1,2 Note ON and Pitch Bender are recognized only for pitch
: change. *3 Each parameter can be assigned to any Control Change and
: these assignment tables can be stored in memory. *4 For program 1-128,
: memory #0-#96 is selected. *5 These commands can be bypassed to OUT.

Mode 1 : OMNI ON, POLY Mode 2 : OMNI ON, MONO o : Yes
Mode 3 : OMNI OFF, POLY Mode 4 : OMNI OFF, MONO x : No

12-02 : 仕 様

アナログ部

全高調波歪率	0.015%以下 @ STEREO OUT, +17dB, 1kHz
周波数特性	20Hz~20kHz 0 +1, -3dB
ダイナミックレンジ	92dB @ STEREO OUT
ハム&ノイズ*1 (STEREO OUT)	-74dB One input fader—nominal Stereo fader—nominal -80dB Stereo off
最大電圧利得	CH INPUT—STEREO OUT 36dB CH INPUT—EFFECTS SEND 30dB

デジタル部

A/D, D/A変換	16ビット リニア
サンプリング周波数	44.1kHz
プログラムメモリー	0~96 (0 : Read Only)

CH INPUTコントロール

Gain	+4~-20dB -10dB center detent/rear panel
Phase	Normal/Reverse
2 Stage EQ	EQ ON/OFF
	Freq. Low : 32Hz~18.0kHz, 56ステップ High : 32Hz~18.0kHz, 56ステップ
	Gain Low/High : ±15dB, 1dBステップ
	Q Low/High : 0.1~5.0, 0.1ステップ
	Type Low/High : Peaking/Shelving/Dynamic
CH SW	ON/OFF
Fader	Channel/SEND1/SEND2
Pre/Post	SEND1/SEND2
Pan	L-C-R (17ポジション)
Oscillator	Sin1 : F=50Hz~10kHz, 8ポジション Sin2 : F=262Hz~523Hz, 8ポジション Saw : F=262Hz~523Hz, 8ポジション Pink : Pink noise

EFFECT RETURNコントロール

Return ON/OFF	Return1 ON/OFF, Return2 ON/OFF
Return Fader	Return1, Return2
エフェクトプログラム	
EFFECT 1	1. REV 1 HALL 2. REV 2 ROOM 3. REV 3 VOCAL 4. REV 4 PLATE 5. FLANGE A 6. FLANGE B 7. CHORUS A 8. CHORUS B 9. PHASING 10. TREMOLO 11. SYMPHONIC 12. EARLY REF.1 13. EARLY REF.2

14. GATE REVERB
15. REVERSE GATE
16. DELAY L&R
17. STEREO ECHO
18. PITCH CHANGE A
19. PITCH CHANGE B
20. PITCH CHANGE C

EFFECT 2	1. STEREO ECHO
	2. FLANGE
	3. CHORUS
	4. PHASING
	5. PANPOT

STEREO MASTERコントロール

Stereo SW	ON/OFF
Stereo Level	Fader

ファンクション

FOOT VOLUME, CHANNEL COPY, SOLO, FADE TIME, DATA ENTRY & FOOT VOLUME EXCHANGE, CASCADE LEVEL ADJUST, INPUT PATCHING, EFFECT 1 INPUT SELECT, CASCADE MODE, EFFECTS SEND SELECT, SYSTEM MODE

ディスプレイ

CLIPインジケーター	CH1~8	クリッピングレベルの3dB 手前で点灯 (Pre A/D)
STEREO OUT L, R LEVEL		7エレメントピークLEDメーター (Post D/A)
メモリーNo.		7セグメント2桁LED
パラメーター表示		16文字2段LCD (バックライト付)

デジタル カスケード

INPUT	8ピン DIN
OUTPUT	8ピン DIN

MIDI IN/OUT/THRU 5ピン DIN×3

電源 AC100V 50/60Hz

消費電力 50W

寸法 (W×H×D) 480mm×186.8mm×286.5mm

重量 8kg

*1 12.7kHz, -6dB/oct. のフィルターで補正。

・0dB = 0.775V_{r.m.s.}

・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

●入・出力仕様

・入力仕様

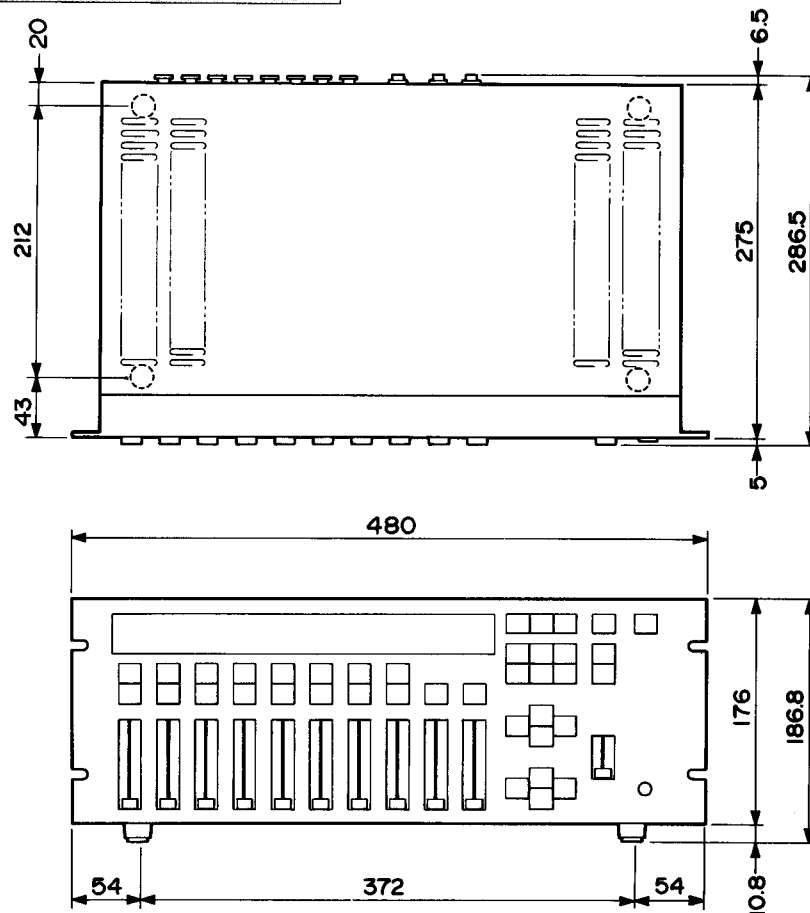
入力端子	GAIN	入力インピーダンス	ソースインピーダンス	感度	入力レベル (@ 1kHz)		使用コネクター
					規定レベル	最大ノンクリップレベル	
CH INPUT 1~8	-20	15k Ω	600 Ω ライン	-32dB (19.5mV)	-20dB (77.5mV)	-6dB (388mV)	ホーンジャック (不平衡)
	-10			-22dB (61.5mV)	-10dB (245mV)	+4dB (1.23V)	
	+4			-8dB (309mV)	+4dB (1.23V)	+18dB (6.16V)	

・出力仕様

出力端子	出力インピーダンス	負荷インピーダンス	出力レベル (@ 1kHz)		使用コネクター
			規定レベル	最大ノンクリップレベル	
STEREO OUT L/R	150 Ω	600 Ω ライン	+4dB (1.23V)	+18dB (6.16V)	XLR-3-32タイプ (平衡)
	600 Ω	10k Ω ライン			ホーンジャック (不平衡)
EFFECTS SEND	600 Ω	10k Ω ライン	+4dB (1.23V)	+18dB (6.16V)	ホーンジャック (不平衡)
PHONES	150 Ω	8 Ω ホーン	0.5mW	12mW	ステレオホーン ジャック (不平衡)
		40 Ω ホーン	1.7mW	42mW	

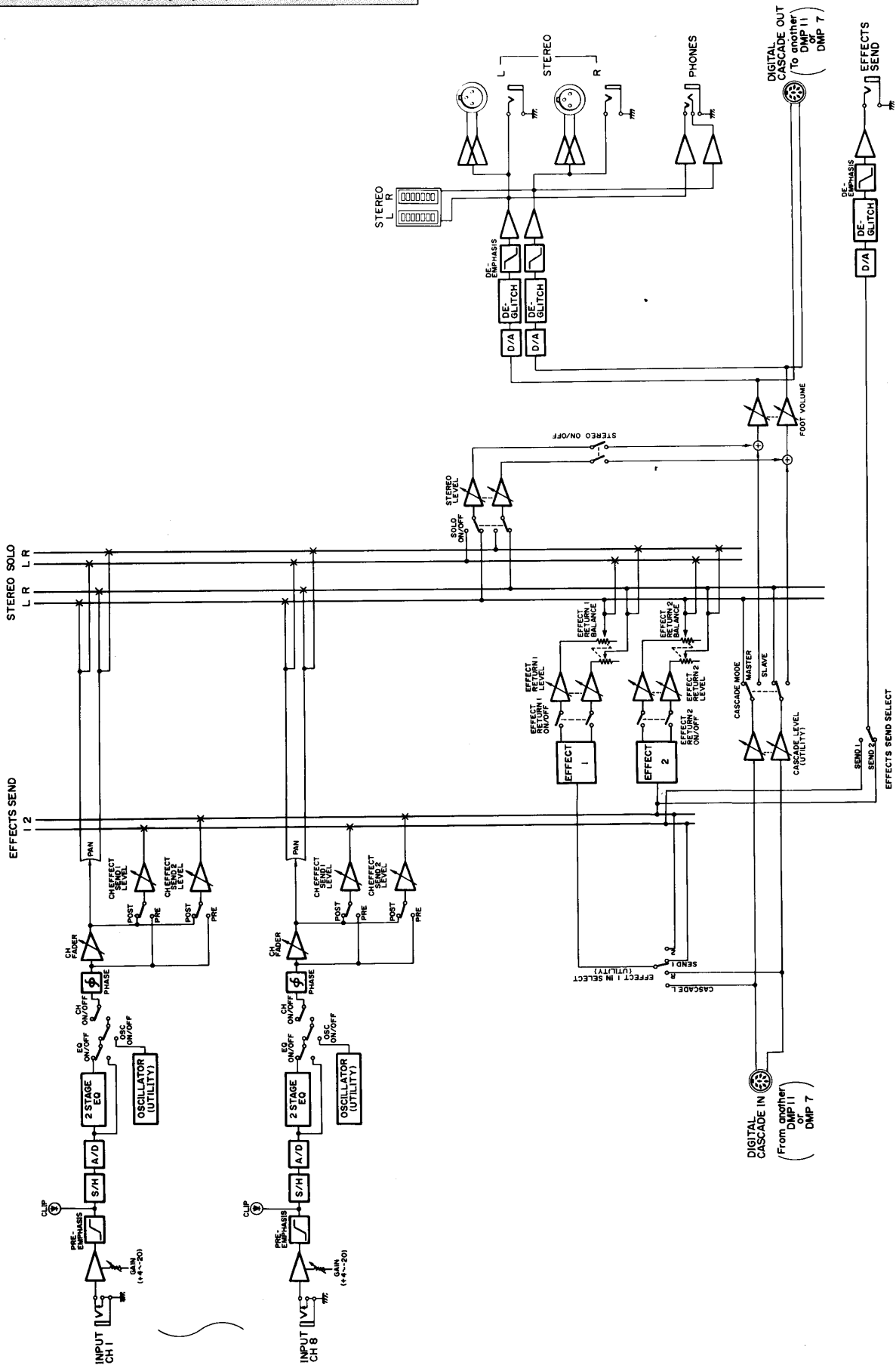
・0dB=0.775Vr.m.s.

12-03 : 寸法図



単位 : mm

12-04 : ブロックダイアグラム



12-05 : エフェクトプログラム一覧表

・パラメーター一覧の文字は、**パラメーター名** を表します。

初期設定値

可変範囲

・EFFECT 1のプログラム

No.	プログラム名	パラメーター				
		RT	HI	ID	HPF	LPF
1	REV 1 HALL	2.6s	x0.6	30.0ms	THRU	8.0kHz
		0.3s - 99.0s	x0.1 - x1.0	0.1ms - 1000.0ms	THRU, 32Hz - 1000Hz	1.0kHz - 18.0kHz, THRU
2	REV 2 ROOM	1.5s	x0.7	20.0ms	THRU	8.0kHz
		0.3s - 99.0s	x0.1 - x1.0	0.1ms - 1000.0ms	THRU, 32Hz - 1000Hz	1.0kHz - 18.0kHz, THRU
3	REV 3 VOCAL	2.4s	x0.5	45.0ms	80Hz	8.0kHz
		0.3s - 99.0s	x0.1 - x1.0	0.1ms - 1000.0ms	THRU, 32Hz - 1000Hz	1.0kHz - 18.0kHz, THRU
4	REV 4 PLATE	1.8s	x0.7	10.0ms	40Hz	10.0kHz
		0.3s - 99.0s	x0.1 - x1.0	0.1ms - 1000.0ms	THRU, 32Hz - 1000Hz	1.0kHz - 18.0kHz, THRU
5	FLANGE A	MOD FREQ	MOD DPTH	MOD DLY	F B GAIN	
		2.5Hz	50%	1.2ms	35%	
6	FLANGE B	MOD FREQ	MOD DPTH	MOD DLY	F B GAIN	
		0.5Hz	90%	1.0ms	40%	
7	CHORUS A	MOD FREQ	DM	AM		
		0.2Hz	50%	40%		
8	CHORUS B	MOD FREQ	DM	AM		
		0.6Hz	50%	10%		
9	PHASING	MOD FREQ	MOD DPTH	MOD DLY		
		1.1Hz	100%	3.0ms		
10	TREMOLO	MOD FREQ	MOD DPTH			
		6.0Hz	50%			
11	SYMPHONIC	MOD FREQ	MOD DPTH			
		0.7Hz	50%			
12	EARLY REF. 1	TYPE	SIZE	LV	DLY	LPF
		HALL	2.0	5	10.0ms	13.0kHz
13	EARLY REF. 2	TYPE	SIZE	LV	DLY	LPF
		HALL	2.0	5	10.0ms	13.0kHz
14	GATE REVERB	TYPE	SIZE	LV	DLY	LPF
		HALL, RANDOM, REVERSE, PLATE	0.1 - 20.0	0 - 10	0.1ms - 1000.0ms	1.0kHz - 18.0kHz, THRU
15	REVERSE GATE	TYPE	SIZE	LV	DLY	LPF
		HALL, RANDOM, REVERSE, PLATE	0.1 - 20.0	0 - 10	0.1ms - 1000.0ms	1.0kHz - 18.0kHz, THRU
16	DELAY L&R	LD	LFG	RD	RFG	HIGH
		100.0ms	0%	200.0ms	0%	x1.0
17	STEREO ECHO	LD	LFG	RD	RFG	HIGH
		170.0ms	60%	175.0ms	58%	x0.9

No.	プログラム名	パラメーター					
		PITCH	FINE	DELAY	FG	KEY	
18	PITCH CHANGE A	+0	+0	0.1ms	0%	C3	
		-12 - +12	-100 - +100	0.1ms - 400.0ms	0% - 99%	OFF, C1 - C6	
19	PITCH CHANGE B	P1	F1	Dly 1	P2	F2	Dly 2
		+0	+8	0.1ms	+0	-8	2.0ms
20	PITCH CHANGE C	-12 - +12	-100 - +100	0.1ms - 200.0ms	-12 - +12	-100 - +100	0.1ms - 200.0ms
		PL	FL	Dly L	PR	FR	Dly R
		+0	+8	0.1ms	+0	-8	0.1ms
		-12 - +12	-100 - +100	0.1ms - 200.0ms	-12 - +12	-100 - +100	0.1ms - 200.0ms

・ EFFECT 2のプログラム

No.	プログラム名	パラメーター				
		LD	LFG	RD	RFG	HIGH
1	STEREO ECHO	170.0ms	60%	175.0ms	58%	x0.9
		0.1ms - 175.0ms	0% - 99%	0.1ms - 175.0ms	0% - 99%	x0.1 - x1.0
2	FLANGE	MOD FREQ	MOD DPTH	MOD DLY	F B GAIN	
		2.5Hz	50%	1.2ms	35%	
3	CHORUS	0.1Hz - 20.0Hz	0% - 100%	0.1ms - 100.0ms	0% - 99%	
		MOD FREQ	DM	AM		
4	PHASING	1.2Hz	50%	40%		
		0.1Hz - 20.0Hz	0% - 100%	0% - 100%		
5	PANPOT	MOD FREQ	MOD DPTH			
		1.2Hz	100%	3.0ms		
		0.1Hz - 20.0Hz	0% - 100%	0.1ms - 5.8ms		
		MOD FREQ	MOD DPTH			
		4.0Hz	50%			
		0.1Hz - 20.0Hz	0% - 100%			

12-06 : イニシャルデータ

MIXING PROGRAM

メモリーナンバー0のイニシャルデータをリコールすると、各パラメーターは次のように基準値にセットされます。

パラメーター		CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7	CH8
PHASE		NORMAL	————	————	————	————	————	————	————>
LOW EQ	FREQ.	100Hz	————	————	————	————	————	————	————>
	GAIN	+0dB	————	————	————	————	————	————	————>
	Q	0.7	————	————	————	————	————	————	————>
	P/S	PEAK	————	————	————	————	————	————	————>
HI EQ	FREQ.	10.0kHz	————	————	————	————	————	————	————>
	GAIN	+0dB	————	————	————	————	————	————	————>
	Q	0.7	————	————	————	————	————	————	————>
	P/S	PEAK	————	————	————	————	————	————	————>
EQ ON/OFF		ON	————	————	————	————	————	————	————>
CH ON/OFF		ON	————	————	————	————	————	————	————>
CH LEVEL		NOMINAL	————	————	————	————	————	————	————>
PAN		CENTER	————	————	————	————	————	————	————>
CH EFFECT	PRE/POST	POST	————	————	————	————	————	————	————>
SEND 1	LEVEL	-∞	————	————	————	————	————	————	————>
CH EFFECT	PRE/POST	POST	————	————	————	————	————	————	————>
SEND 2	LEVEL	-∞	————	————	————	————	————	————	————>
OSC	ON/OFF	off	————	————	————	————	————	————	————>
	W	Sin2	————	————	————	————	————	————	————>
	F	262Hz	294Hz	330Hz	349Hz	392Hz	440Hz	494Hz	523Hz

パラメーター	SEND 1 (RETURN 1)	SEND 2 (RETURN 2)
EFFECT SELECT	1 REV 1 HALL	1 STEREO ECHO
EFFECT PARAMETER SETTING	RT = 2.6s	LD = 170.0ms
	HI = x0.6s	LFG = 60%
	ID = 30.0ms	RD = 175.0ms
	HDF = THRU	RFG = 58%
	LPF = 8.0kHz	HIGH = x0.9
EFFECT RETURN LEVEL	-∞	-∞
EFFECT RETURN BALANCE	CENTER	CENTER
EFFECT RETURN ON/OFF	ON	ON

パラメーター		
STEREO LEVEL		NOMINAL
STEREO ON/OFF		ON
DATA ENTRY & FOOT VOLUME EXCHANGE		Normal Mode
FADE TIME		T = 0.1sec
CH INPUT PATCH		ch 1 ← JK1 ch 2 ← JK2 ch 3 ← JK3 ch 4 ← JK4 ch 5 ← JK5 ch 6 ← JK6 ch 7 ← JK7 ch 8 ← JK8
CASCADE IN LEVEL	MASTER/SLAVE	Slave
	PAD	0.0dB
EFFECT 1 INPUT SELECT		Send 1
EXTERNAL SEND OUTPUT SELECT		Send 2

CONTROL NUMBER & PARAMETER (BASE CHANNEL)

・MIDIキーとフェーダー/リップキーを同時に押しながらパワーキーをオンにするか、データのイニシャライズ(P40参照)を実行すると、コントロールチェンジ&パラメーター対応表は、ベースチャンネルは下表のように、ネクストチャンネルは次ページのように初期化されます。

CNTL 0	FadeTime	CNTL 43	S1fader4	CNTL 86	Ef1prm3R
CNTL 1	R1 fader	CNTL 44	S1fader5	CNTL 87	Ef1prm3V
CNTL 2	*****	CNTL 45	S1fader6	CNTL 88	Ef1prm4R
CNTL 3	*****	CNTL 46	S1fader7	CNTL 89	Ef1prm4V
CNTL 4	ST fader	CNTL 47	S1fader8	CNTL 90	Ef1prm5R
CNTL 5	*****	CNTL 48	*****	CNTL 91	Ef1prm5V
CNTL 6	Foot Vol	CNTL 49	*****	CNTL 92	Ef1prm6R
CNTL 7	R2 fader	CNTL 50	*****	CNTL 93	Ef1prm6V
CNTL 8	C1on/off	CNTL 51	*****	CNTL 94	*****
CNTL 9	C2on/off	CNTL 52	*****	CNTL 95	*****
CNTL 10	C3on/off	CNTL 53	*****	CNTL 96	*****
CNTL 11	C4on/off	CNTL 54	*****	CNTL 97	*****
CNTL 12	C5on/off	CNTL 55	*****	CNTL 98	*****
CNTL 13	C6on/off	CNTL 56	S2fader1	CNTL 99	*****
CNTL 14	C7on/off	CNTL 57	S2fader2	CNTL 100	*****
CNTL 15	C8on/off	CNTL 58	S2fader3	CNTL 101	*****
CNTL 16	Phase1-4	CNTL 59	S2fader4	CNTL 102	Ef2prm1R
CNTL 17	Phase5-8	CNTL 60	S2fader5	CNTL 103	Ef2prm1V
CNTL 18	Pr/Pst1L	CNTL 61	S2fader6	CNTL 104	Ef2prm2R
CNTL 19	Pr/Pst1H	CNTL 62	S2fader7	CNTL 105	Ef2prm2V
CNTL 20	*****	CNTL 63	S2fader8	CNTL 106	Ef2prm3R
CNTL 21	*****	CNTL 64	*****	CNTL 107	Ef2prm3V
CNTL 22	Pr/Pst2L	CNTL 65	*****	CNTL 108	Ef2prm4R
CNTL 23	Pr/Pst2H	CNTL 66	*****	CNTL 109	Ef2prm4V
CNTL 24	Panpot 1	CNTL 67	*****	CNTL 110	Ef2prm5R
CNTL 25	Panpot 2	CNTL 68	*****	CNTL 111	Ef2prm5V
CNTL 26	Panpot 3	CNTL 69	*****	CNTL 112	*****
CNTL 27	Panpot 4	CNTL 70	*****	CNTL 113	*****
CNTL 28	Panpot 5	CNTL 71	*****	CNTL 114	*****
CNTL 29	Panpot 6	CNTL 72	STon/off	CNTL 115	*****
CNTL 30	Panpot 7	CNTL 73	R1on/off	CNTL 116	*****
CNTL 31	Panpot 8	CNTL 74	*****	CNTL 117	*****
CNTL 32	l.fader1	CNTL 75	R2on/off	CNTL 118	*****
CNTL 33	l.fader2	CNTL 76	Rt.Bal 1	CNTL 119	*****
CNTL 34	l.fader3	CNTL 77	Rt.Bal 2	CNTL 120	*****
CNTL 35	l.fader4	CNTL 78	Solo	CNTL 121	*****
CNTL 36	l.fader5	CNTL 79	Eff1 typ	CNTL 122	*****
CNTL 37	l.fader6	CNTL 80	*****	CNTL 123	*****
CNTL 38	l.fader7	CNTL 81	Eff2 typ	CNTL 124	*****
CNTL 39	l.fader8	CNTL 82	Ef1prm1R	CNTL 125	*****
CNTL 40	S1fader1	CNTL 83	Ef1prm1V	CNTL 126	*****
CNTL 41	S1fader2	CNTL 84	Ef1prm2R	CNTL 127	*****
CNTL 42	S1fader3	CNTL 85	Ef1prm2V		

***** : not assigned

CONTROL NUMBER & PARAMETER (NEXT CHANNEL)

CNTL 0	Dyna L 1	CNTL 43	*****	CNTL 86	Hi gain7
CNTL 1	Dyna L 2	CNTL 44	*****	CNTL 87	Hi gain8
CNTL 2	Dyna L 3	CNTL 45	*****	CNTL 88	Hi Q 1
CNTL 3	Dyna L 4	CNTL 46	*****	CNTL 89	Hi Q 2
CNTL 4	Dyna L 5	CNTL 47	*****	CNTL 90	Hi Q 3
CNTL 5	Dyna L 6	CNTL 48	*****	CNTL 91	Hi Q 4
CNTL 6	Dyna L 7	CNTL 49	*****	CNTL 92	Hi Q 5
CNTL 7	Dyna L 8	CNTL 50	*****	CNTL 93	Hi Q 6
CNTL 8	Dyna H 1	CNTL 51	*****	CNTL 94	Hi Q 7
CNTL 9	Dyna H 2	CNTL 52	*****	CNTL 95	Hi Q 8
CNTL 10	Dyna H 3	CNTL 53	*****	CNTL 96	*****
CNTL 11	Dyna H 4	CNTL 54	*****	CNTL 97	*****
CNTL 12	Dyna H 5	CNTL 55	*****	CNTL 98	*****
CNTL 13	Dyna H 6	CNTL 56	*****	CNTL 99	*****
CNTL 14	Dyna H 7	CNTL 57	*****	CNTL 100	*****
CNTL 15	Dyna H 8	CNTL 58	*****	CNTL 101	*****
CNTL 16	Lo frq 1	CNTL 59	*****	CNTL 102	Lo typeL
CNTL 17	Lo frq 2	CNTL 60	*****	CNTL 103	Lo typeH
CNTL 18	Lo frq 3	CNTL 61	*****	CNTL 104	Hi typeL
CNTL 19	Lo frq 4	CNTL 62	*****	CNTL 105	Hi typeH
CNTL 20	Lo frq 5	CNTL 63	*****	CNTL 106	EQ1on/of
CNTL 21	Lo frq 6	CNTL 64	*****	CNTL 107	EQ2on/of
CNTL 22	Lo frq 7	CNTL 65	*****	CNTL 108	EQ3on/of
CNTL 23	Lo frq 8	CNTL 66	*****	CNTL 109	EQ4on/of
CNTL 24	Lo gain1	CNTL 67	*****	CNTL 110	EQ5on/of
CNTL 25	Lo gain2	CNTL 68	*****	CNTL 111	EQ6on/of
CNTL 26	Lo gain3	CNTL 69	*****	CNTL 112	EQ7on/of
CNTL 27	Lo gain4	CNTL 70	*****	CNTL 113	EQ8on/of
CNTL 28	Lo gain5	CNTL 71	*****	CNTL 114	Cascade
CNTL 29	Lo gain6	CNTL 72	Hi frq 1	CNTL 115	*****
CNTL 30	Lo gain7	CNTL 73	Hi frq 2	CNTL 116	*****
CNTL 31	Lo gain8	CNTL 74	Hi frq 3	CNTL 117	*****
CNTL 32	Lo Q 1	CNTL 75	Hi frq 4	CNTL 118	*****
CNTL 33	Lo Q 2	CNTL 76	Hi frq 5	CNTL 119	*****
CNTL 34	Lo Q 3	CNTL 77	Hi frq 6	CNTL 120	*****
CNTL 35	Lo Q 4	CNTL 78	Hi frq 7	CNTL 121	*****
CNTL 36	Lo Q 5	CNTL 79	Hi frq 8	CNTL 122	*****
CNTL 37	Lo Q 6	CNTL 80	Hi gain1	CNTL 123	*****
CNTL 38	Lo Q 7	CNTL 81	Hi gain2	CNTL 124	*****
CNTL 39	Lo Q 8	CNTL 82	Hi gain3	CNTL 125	*****
CNTL 40	*****	CNTL 83	Hi gain4	CNTL 126	*****
CNTL 41	*****	CNTL 84	Hi gain5	CNTL 127	*****
CNTL 42	*****	CNTL 85	Hi gain6		

***** : not assigned

12-07 : ブランクチャート

メモ用にお使いください。

YAMAHA DMP11 MIXING PROGRAM

MEMORY NO. _____

PROGRAM TITLE: _____

DATE: _____

PROGRAMMER: _____

パラメーター		CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7	CH8
PHASE									
LOW EQ	FREQ.								
	GAIN								
	Q								
	P/S								
HI EQ	FREQ.								
	GAIN								
	Q								
	P/S								
EQ ON/OFF									
CH ON/OFF									
CH LEVEL									
PAN									
CH EFFECT	PRE/POST								
SEND 1	LEVEL								
CH EFFECT	PRE/POST								
SEND 2	LEVEL								
OSC	ON/OFF								
	W								
	F								

パラメーター	SEND 1 (RETURN 1)	SEND 2 (RETURN 2)
EFFECT SELECT		
EFFECT PARAMETER SETTING		
EFFECT RETURN LEVEL		
EFFECT RETURN BALANCE		
EFFECT RETURN ON/OFF		

パラメーター		
STEREO LEVEL		
STEREO ON/OFF		
DATA ENTRY & FOOT VOLUME EXCHANGE		
FADE TIME		T =
CH INPUT PATCH		ch 1 ← ch 2 ← ch 3 ← ch 4 ← ch 5 ← ch 6 ← ch 7 ← ch 8 ←
CASCADE IN LEVEL	MASTER/SLAVE	
	PAD	
EFFECT 1 INPUT SELECT		
EXTERNAL SEND OUTPUT SELECT		

YAMAHA DMP11 PROGRAM TITLE

DATE: _____

PROGRAMMER: _____

メモリー No.		メモリー No.		メモリー No.	
1		34		67	
2		35		68	
3		36		69	
4		37		70	
5		38		71	
6		39		72	
7		40		73	
8		41		74	
9		42		75	
10		43		76	
11		44		77	
12		45		78	
13		46		79	
14		47		80	
15		48		81	
16		49		82	
17		50		83	
18		51		84	
19		52		85	
20		53		86	
21		54		87	
22		55		88	
23		56		89	
24		57		90	
25		58		91	
26		59		92	
27		60		93	
28		61		94	
29		62		95	
30		63		96	
31		64			
32		65			
33		66			

YAMAHA DMP11

PROGRAM CHANGE NUMBER & MEMORY (PROGRAM) NUMBER

BANK: _____

MIDI CHANNEL: _____

DATE: _____

PROGRAMMER: _____

PGM 1	MEM	PGM 44	MEM	PGM 87	MEM
PGM 2	MEM	PGM 45	MEM	PGM 88	MEM
PGM 3	MEM	PGM 46	MEM	PGM 89	MEM
PGM 4	MEM	PGM 47	MEM	PGM 90	MEM
PGM 5	MEM	PGM 48	MEM	PGM 91	MEM
PGM 6	MEM	PGM 49	MEM	PGM 92	MEM
PGM 7	MEM	PGM 50	MEM	PGM 93	MEM
PGM 8	MEM	PGM 51	MEM	PGM 94	MEM
PGM 9	MEM	PGM 52	MEM	PGM 95	MEM
PGM 10	MEM	PGM 53	MEM	PGM 96	MEM
PGM 11	MEM	PGM 54	MEM	PGM 97	MEM
PGM 12	MEM	PGM 55	MEM	PGM 98	MEM
PGM 13	MEM	PGM 56	MEM	PGM 99	MEM
PGM 14	MEM	PGM 57	MEM	PGM 100	MEM
PGM 15	MEM	PGM 58	MEM	PGM 101	MEM
PGM 16	MEM	PGM 59	MEM	PGM 102	MEM
PGM 17	MEM	PGM 60	MEM	PGM 103	MEM
PGM 18	MEM	PGM 61	MEM	PGM 104	MEM
PGM 19	MEM	PGM 62	MEM	PGM 105	MEM
PGM 20	MEM	PGM 63	MEM	PGM 106	MEM
PGM 21	MEM	PGM 64	MEM	PGM 107	MEM
PGM 22	MEM	PGM 65	MEM	PGM 108	MEM
PGM 23	MEM	PGM 66	MEM	PGM 109	MEM
PGM 24	MEM	PGM 67	MEM	PGM 110	MEM
PGM 25	MEM	PGM 68	MEM	PGM 111	MEM
PGM 26	MEM	PGM 69	MEM	PGM 112	MEM
PGM 27	MEM	PGM 70	MEM	PGM 113	MEM
PGM 28	MEM	PGM 71	MEM	PGM 114	MEM
PGM 29	MEM	PGM 72	MEM	PGM 115	MEM
PGM 30	MEM	PGM 73	MEM	PGM 116	MEM
PGM 31	MEM	PGM 74	MEM	PGM 117	MEM
PGM 32	MEM	PGM 75	MEM	PGM 118	MEM
PGM 33	MEM	PGM 76	MEM	PGM 119	MEM
PGM 34	MEM	PGM 77	MEM	PGM 120	MEM
PGM 35	MEM	PGM 78	MEM	PGM 121	MEM
PGM 36	MEM	PGM 79	MEM	PGM 122	MEM
PGM 37	MEM	PGM 80	MEM	PGM 123	MEM
PGM 38	MEM	PGM 81	MEM	PGM 124	MEM
PGM 39	MEM	PGM 82	MEM	PGM 125	MEM
PGM 40	MEM	PGM 83	MEM	PGM 126	MEM
PGM 41	MEM	PGM 84	MEM	PGM 127	MEM
PGM 42	MEM	PGM 85	MEM	PGM 128	MEM
PGM 43	MEM	PGM 86	MEM		

YAMAHA DMP11

CONTROL CHANGE NUMBER & PARAMETER

CHANNEL: BASE/NEXT

MIDI CHANNEL:

DATE:

PROGRAMMER:

CNTL 0		CNTL 43		CNTL 86	
CNTL 1		CNTL 44		CNTL 87	
CNTL 2		CNTL 45		CNTL 88	
CNTL 3		CNTL 46		CNTL 89	
CNTL 4		CNTL 47		CNTL 90	
CNTL 5		CNTL 48		CNTL 91	
CNTL 6		CNTL 49		CNTL 92	
CNTL 7		CNTL 50		CNTL 93	
CNTL 8		CNTL 51		CNTL 94	
CNTL 9		CNTL 52		CNTL 95	
CNTL 10		CNTL 53		CNTL 96	
CNTL 11		CNTL 54		CNTL 97	
CNTL 12		CNTL 55		CNTL 98	
CNTL 13		CNTL 56		CNTL 99	
CNTL 14		CNTL 57		CNTL 100	
CNTL 15		CNTL 58		CNTL 101	
CNTL 16		CNTL 59		CNTL 102	
CNTL 17		CNTL 60		CNTL 103	
CNTL 18		CNTL 61		CNTL 104	
CNTL 19		CNTL 62		CNTL 105	
CNTL 20		CNTL 63		CNTL 106	
CNTL 21		CNTL 64		CNTL 107	
CNTL 22		CNTL 65		CNTL 108	
CNTL 23		CNTL 66		CNTL 109	
CNTL 24		CNTL 67		CNTL 110	
CNTL 25		CNTL 68		CNTL 111	
CNTL 26		CNTL 69		CNTL 112	
CNTL 27		CNTL 70		CNTL 113	
CNTL 28		CNTL 71		CNTL 114	
CNTL 29		CNTL 72		CNTL 115	
CNTL 30		CNTL 73		CNTL 116	
CNTL 31		CNTL 74		CNTL 117	
CNTL 32		CNTL 75		CNTL 118	
CNTL 33		CNTL 76		CNTL 119	
CNTL 34		CNTL 77		CNTL 120	
CNTL 35		CNTL 78		CNTL 121	
CNTL 36		CNTL 79		CNTL 122	
CNTL 37		CNTL 80		CNTL 123	
CNTL 38		CNTL 81		CNTL 124	
CNTL 39		CNTL 82		CNTL 125	
CNTL 40		CNTL 83		CNTL 126	
CNTL 41		CNTL 84		CNTL 127	
CNTL 42		CNTL 85			

13 : サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年で
す。(現金、ローン、月賦などによる区別はございませ
ん。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お
名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。
無記名の場合は無効になりますので、くれぐ
れもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに
ご購入の日から向う1カ年間の無償サービスをお約束
申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期
間中であっても実費を頂戴させていただくことになり
ます。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけ
ますように充分ご配慮のうえで保管してください。ま
た、保証期間が切れましてもお捨てにならないでくだ
さい。後々のサービスに際しての機種判別や、サー
ビス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

(ヤマハPA製品に対するお問合せ窓口)

お客様ご相談窓口

《ヤマハ AV機器事業部 営業部》

音響機器東京営業所 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F
Tel(03)3255-1825
音響機器大阪営業所 〒556 大阪市浪速区難波中1-13-17 ナンパ社本コッセビル
Tel(06)647-8359
音響機器名古屋営業所 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
Tel(052)232-5744
音響機器九州営業所 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
Tel(092)472-2131
本 社 〒430 浜松市中区中沢町10-1
音 響 機 器 営 業 課 Tel(053)460-2455
商 品 企 画 室 Tel(053)460-2493

《ヤマハ 楽器営業本部》

北海道支店 LM営業課 〒064 札幌市中央区南十条西1-1 ヤマハセンター内
Tel(011)512-6113
仙台支店 LM営業課 〒980 仙台市青葉区大町2-2-10
Tel(022)222-6146
東京支店 LM営業課 〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル
Tel(03)3574-8592
名古屋支店 LM営業課 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
Tel(052)201-5199
大阪支店 LM営業課 〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館
Tel(06)252-5231
広島支店 LM営業課 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル
Tel(082)244-3749
九州支店 LM営業課 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
Tel(092)472-2130
本 社 LM営業部 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル8F
音響機器営業課 Tel(03)5568-2936

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店に
ご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。こ
の際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合に
はサービス料金を頂戴く場合もあります。又お買上げ
店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あ
るいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先
におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、
引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよ
う手続き致します。

満1カ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料とな
りますが、引き続き責任をもってサービスをさせてい
ただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低
8年となっています。そのほかご不明の点などござい
ましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせく
ださい。

(修理受付および修理品お預り窓口)

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

《ヤマハ電気音響製品サービス拠点》

北海道サービスセンター 〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
Tel(011)513-5036
仙台サービスセンター 〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
Tel(022)236-0249
新潟サービスセンター 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F
Tel(025)243-4321
東京サービスセンター 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F
Tel(03)3255-2241
首都圏サービスセンター 〒211 川崎市中原区木月1184
Tel(044)434-3100
浜松サービスセンター 〒435 浜松市上西町911 ヤマハ㈱宮竹工場内
Tel(053)465-6711
名古屋サービスセンター 〒454 名古屋市中川区引町2-1-2 ヤマハ㈱名古屋流通センター3F
Tel(052)652-2230
大阪サービスセンター 〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ㈱千里丘センター内
Tel(06)877-5262
神戸サービスセンター 〒650 神戸市中央区元町通2-7-3 ヤマハ㈱神戸店内7F
Tel(078)321-1195
四国サービスセンター 〒760 高松市丸龜町8-7 ヤマハ㈱高松店内
Tel(0878)22-3045
広島サービスセンター 〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39
Tel(082)874-3787
九州サービスセンター 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
Tel(092)472-2134
〔本社〕
技 術 営 業 部 〒435 浜松市上西町911 ヤマハ㈱宮竹工場内
テ ク ニ カ ル セ ン タ ー Tel(053)465-5195

●所在地・電話番号などは変更されることがあります。